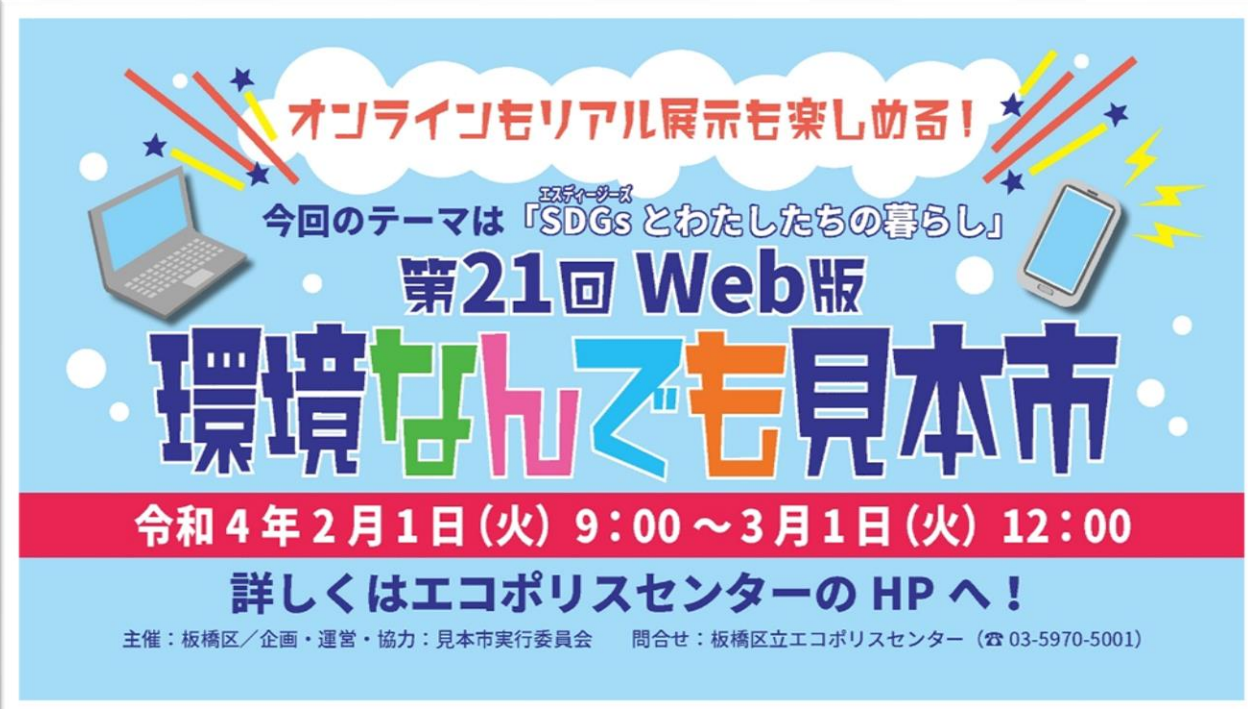


Web版第21回 環境なんでも見本市 実施報告書



オンラインもリアル展示も楽しめる！

今回のテーマは「SDGsとわたしたちの暮らし」

第21回 Web版
環境なんでも見本市

令和4年2月1日(火) 9:00～3月1日(火) 12:00

詳しくはエコポリスセンターのHPへ！

主催：板橋区／企画・運営・協力：見本市実行委員会 問合せ：板橋区立エコポリスセンター（☎ 03-5970-5001）



開催：令和4年2月1日(火)～3月1日(火)
主催：板橋区
企画・運営：見本市実行委員会

目次

1. 実施概要	1
2. 実施結果～オンライン展示～	4
3. 実施結果～リアル展示～	16
4. ワークショップ	25
5. 見本市ギャラリー	27
6. アンケート集計結果～オンライン展示	34
7. アンケート集計結果～リアル展示・クイズラリー～	39
8. 出展者アンケート集計結果	43
9. エコアクション 9	51
10. 見本市実行委員会	54
参 考 資 料	55

1. 実施概要

(1) 日時

令和4年2月1日(火)9:00~3月1日(火)12:00

(2) 場所

オンライン展示・・・インターネット上

リアル展示・・・エコポリスセンター地下1階

ワークショップ・・・エコポリスセンター地下1階 環境研修室・視聴覚ホール

(3) 主催

板橋区

(4) 企画・運営

見本市実行委員会

(5) 趣旨

地球の環境を維持・改善していくためには、私たち一人ひとりが身近なことから取り組み、環境に優しいライフスタイルにすることが求められている。本イベントは、これまで区内最大級の環境イベントとして、板橋区内外で行われている様々な環境活動や環境にやさしい暮らし方などを紹介してきた。今年度は昨年度に引き続き Web 上での展示に加え、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上でエコポリスセンター内での展示や、ワークショップを行った。より多くの方に Web と館内で様々な環境活動に触れていただき、私たち自ら何ができるのか考えていただく機会とする。

(6) 出展団体(39 団体)

▼法人・市民団体(19)

板橋切り絵愛好会/板橋区の蝶を調査する会/いたばし水と緑の会/一般社団法人ソーラーシステム振興協会/エコ紙漉きはがき絵の会/エコ窓普及促進会/NPO 法人 いた・エコ・ネット/NPO 法人 SDGs いたばしネットワーク/ NPO 法人 東京城北環境カウンセラー協議会/NPO 法人 みずみくにん(水未来人)/ NPO 法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア/オール東京 62「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」/おもちゃの病院/公益財団法人東京都環境公社/新婦人絵手紙サークル(くちなし班)/都立赤塚公園友の会/ハートワーク・こすもす/身近な自然の観察・記録活動/和紙ちぎり絵の会

▼小中学校(7)

板橋区立板橋第七小学校/板橋区立板橋第二小学校/板橋区立桜川小学校/板橋区立蓮根第二小学校/板橋区立緑小学校/板橋区立高島第一中学校/板橋区立西台中学校

▼大学(1)

東京家政大学 環境教育学科

▼企業(5)

株式会社空調服/株式会社日本フードエコロジーセンター/株式会社増渕商店/株式会社マップ/東京ガス(株)東京東支店

▼行政(7)

板橋区 環境政策課 環境教育係/板橋区 環境政策課 自然環境保全係/板橋区 環境政策課 脱

(7)内容

1)各出展団体紹介※重複出展あり

①オンライン展示(19 団体)

環境活動に取り組む出展団体の活動や成果をエコポリスセンターHPにて紹介。

- ・概要(紹介文、紹介画像最大 5 枚、対応する SDGs アイコンと SDGsに対する考え方など)
- ・動画の掲載(12 団体)
- ・クイズ出題(19 団体)

②リアル展示(25 団体)

環境活動に取り組む出展団体の活動や成果、作品の実物等をエコポリスセンター地下 1 階にて展示。

2)ワークショップ(7 団体)

エコな工作や、自然物を使った工作、板橋区をはじめとする各区の環境の取り組みの紹介等を 2 月 5 日(土)2 月 6 日(日)の 2 日間にわたり開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、1 度の参加人数を 10 名(保護者は参加者 1 名につき 1 人)までとし、換気を十分に行い密な状態を作らないよう実施。

参加者 337 名

- 2 月 5 日(土)10 時~11 時 オリジナルエコバッグを作ろう!!
- 2 月 5 日(土)10 時~11 時 海辺のマグネットを作ろう!
- 2 月 5 日(土)14 時~15 時 再生紙で水族かんバッジ
- 2 月 5 日(土)14 時~15 時 東京各地の環境の取り組みを見てみよう
- 2 月 6 日(日)10 時~11 時 どんぐりコロコロくるとコマづくり
- 2 月 6 日(日)10 時~11 時 再生紙で水族かんバッジ
- 2 月 6 日(日)14 時~15 時 間伐材でおもしろ顔工作
- 2 月 6 日(日)14 時~15 時 リユース de フリンジバッジ

3)クイズラリー(参加者 1,177 名)

リアル展示の内容に沿ったクイズラリーを実施。参加者には、出展団体提供の手作り作品やノベルティ等の景品をプレゼントした。

4)エコアクション 9(参加者 120 名)

エコポリスセンターでは、地球温暖化防止への取り組みの契機となるよう、環境にやさしい 9 つの行動「エコアクション 9」(平成 31 年 4 月改定)をイベント等で紹介し、その実施状況を調査している。今回の環境なんでも見本市では、Web 展示や館内展示のエコポリスセンターブースにタブレット端末を配置し、エコアクション 9 の啓発を行った。

5)出展団体交流会(希望制)

令和 4 年 3 月 1 日(火)12:00~13:00

応募 12 名、当日参加 11 名(実行委員 3 名、事務局 5 名含む)

参加者一覧

- 1 板橋切り絵愛好会 1 名
- 2 NPO 法人 いた・エコ・ネット 2 名
- 3 NPO 法人 SDGs いたばしネットワーク 1 名
- 4 都立赤塚公園友の会 1 名

- 5 和紙ちぎり絵の会 1名
- 6 事務局 板橋区立エコポリスセンター 5名

(8) 閲覧回答数

- 1) Top ページ閲覧数: 1,399名 (2月1日 9:00~3月1日 12:00)
- 2) オンライン展示アンケート回答数: 17件
- 3) クイズラリー回答数: 1177件
- 4) エコアクション 9 回答数: 120件

(9) 広報展開

- 1) エコポリスセンター広報物
季刊誌エコポ、月刊エコポ、ポスター、エコポリスセンターホームページ、Facebook、Twitter、Instagram
- 2) 板橋区役所広報物
広報いたばし、ホームページ、広告付電子表示板、デジタルサイネージ

※SDGs とは、「持続可能な開発目標」のことで 2030 年までに達成をめざす国際目標 (2015 年に国連総会で 193 カ国が合意) である。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2. 実施結果～オンライン展示～

※団体区分(法人・市民団体・小中学校・企業・行政)ごとに 50 音順で掲載。

【凡例】

団体区分	法人・市民団体・小中学校・企業・行政 ※いずれか一つを選択
団体名	〇〇
出展タイトル	20 文字程度
出展内容の紹介	〇〇
SDGs 該当アイコン	〇〇
出展者の SDGs に対する 考え方	〇〇

団体区分	法人・市民団体
団体名	板橋区の蝶を調査する会
出展タイトル	板橋区で見られる蝶
出展内容の紹介	生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進には、現在の生態系の状況を把握することが必要です。「板橋区の蝶を調査する会」では、板橋区の蝶を主体にした観察・調査を 16 年間継続してきた結果をお知らせします。
SDGs 該当アイコン	11・15
出展者の SDGs に対する 考え方	自然生息地の劣化を抑制、生物多様性の損出を阻止、絶滅危惧種の保護、防止を図るには、現状の基礎データを把握することが必要です。住み続けられるまちづくりには基礎データを有効活用することが望まれます。

団体区分	法人・市民団体
団体名	いたばし水と緑の会
出展タイトル	公園にもっと自然を！
出展内容の紹介	自然と共存するまちづくりをめざし、赤塚公園城址周辺で生き物達がすすめるトンボ池とバッタ広場(ピオトープという)をつくり、最小限の草刈などの手入れをしながら自然とおつきあいをしています。
SDGs 該当アイコン	15
出展者の SDGs に対する 考え方	私たちの活動は、SDGs で言えば 15「陸の豊かさを守ろう」になり、陸の自然(生物多様性)を破壊して作り上げてきた人間中心の文明を見直すことです。いろいろな方法がありますが、都会に住む人間として、身近な自然を豊かにして大切にすることができます。 私たちが活動するバッタ広場とトンボ池では、身近な自然を感じ、私たちも自然界の一員であることを学ぶフィールドです。

団体区分	法人・市民団体
団体名	一般社団法人ソーラーシステム振興協会
出展タイトル	そらエネ！もっと使おう太陽熱
出展内容の紹介	再生可能エネルギーである太陽熱エネルギーを利用する、環境にやさしい「そらエネ」(太陽熱利用システム)を普及させることにより、地球温暖化の原因であるCO2排出量の削減に貢献し地球の環境を守ることをめざします。
SDGs 該当アイコン	7・1・13
出展者のSDGsに対する考え方	再生可能エネルギーである太陽熱エネルギーを利用する環境にやさしい「太陽熱利用システム」の更なる普及を目指します。 環境や人体への影響に考慮した材料を使用し、製品の再利用を考え、廃棄物の削減を目指します。 「太陽熱利用システム」を普及させる事により、地球温暖化の原因であるCO2排出量の削減に貢献します。

団体区分	法人・市民団体
団体名	エコ窓普及促進会
出展タイトル	省エネ・健康のカギは『エコ窓で断熱！』
出展内容の紹介	お家の中で熱がもっとも逃げやすいのは「窓」です。暖冷房効率を向上(エネルギー効率化)には、エコ窓での窓断熱リフォームが重要となります。省エネはもちろん、健康にもやさしい暮らし方をご紹介します。
SDGs 該当アイコン	3・7・13・17
出展者のSDGsに対する考え方	エコ窓普及促進会は、環境省 地球温暖化防止対策地域協議会の登録団体です。省エネ効果の高いガラス・サッシを使った窓「エコ窓」の普及促進を図り、地球温暖化防止を推進する社会貢献活動に取り組んでいます。SDGsの目標達成のため、脱炭素社会・持続可能社会のために私たちができることを考え行動し、生活者様向けに普及活動を続けていきます。常生活で身近にありふれている「窓」ですが、CO2削減や健康維持・向上にとっても重要な場所です。ひとと地球の健康のために“エコ窓での断熱対策”は大切です！

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 いた・エコ・ネット
出展タイトル	設立7年目の環境NPO 多角的に環境活動を展開
出展内容の紹介	5つのプロジェクト(PT):①いたばしオーガニックコットン栽培・普及活動PT②福島被災地ボランティア活動PT③自然エネルギー普及活動PT④環境教育実践活動PT⑤5R推進・普及活動PTを実践しています。
SDGs 該当アイコン	4・7・12・15・17
出展者のSDGsに対する考え方	私たちは、「赤塚公園でのコットン栽培」を通して自然農法を学び伝え、「福島訪問」(ふくしまオーガニックコットン支援・浜通り復興の状況視察)や「小型太陽光発電パネル試作」により原発・自然エネルギー問題を考え伝え、「区民祭生ごみ回収」等により5Rを実践し、それらの学びを「学校出前授業」や「夏エコスクール等各種イベントでのワークショップ」による環境教育に反映させています。学びの場・教える場・交流の場を通したパートナーシップを大切にしています。

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 SDGs いたばしネットワーク
出展タイトル	つながろう！みんなで希望の未来創り
出展内容の紹介	①当会「SDGsいたばしネットワーク」の紹介②私たちが今取り組んでいることとこれから③地域ブロックの活動、表現活動、課題解決PJ、協働学習PJの現況報告
SDGs 該当アイコン	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs の基本理念「誰も置き去りにしない」に深く共感するものです。かけがえのない命、そして地球が悲鳴を上げている今、SDGs17を具体的に進め、この尊い生命と地球を守らなければならないのです。そのために、多様な関係機関や団体、そして子どもから大人までの地域住民がつながり、みんなで知恵と力をだしあっていくことが求められています。

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 東京城北環境カウンセラー協議会
出展タイトル	SDGsとわたしたち
出展内容の紹介	当会は、環境環境教育インストラクター資格取得のセミナー開催をはじめ、子供から学生、一般市民向けの環境教育や啓もう活動を行っています。また、事業者や団体の環境活動を指導支援しています。
SDGs 該当アイコン	4・7・9・11・12・13
出展者の SDGs に対する考え方	NPO 東京城北環境カウンセラー協議会は、東京城北地域在住在勤の環境省登録の環境カウンセラーにより、平成13年3月に設立され環境保全に関わる活動を続けてきています。当会の目的は、会員が結集して相互に補完研鑽して、環境保全活動を通じて、地域社会の発展に貢献することとしており、現在提唱されているSDGsの17項目に、基本的にはよく一致した活動を行っています。また、ESG金融(投資)や脱炭素社会構築を通じて地球温暖化防止に寄与することも、大きな目標です。

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 みずみくにん(水未来人)
出展タイトル	街からみんなで聴こう「海の声」
出展内容の紹介	プラスチックゴミによる海洋汚染は世界中で大きな問題です。海のゴミの多くは、街から出たものです。日常生活からゴミ問題を考えることは海の環境保全につながります。
SDGs 該当アイコン	11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	「海辺の自然を守る」ということは、今そこにある海辺のゴミを拾うだけでは継続的に自然を守ることにはつながらない。 日常生活における大気汚染、水質汚染、プラスチックゴミ問題など、経済的活動の視点から環境保全を考えることが必要であるといける。 ひとりの力では解決できない課題も、多くの人々、様々な分野の人たちで協力して取り組めば、よりよい未来をつくる事が出来るかもしれない。 世界中の人々が協力して取り組む17の目標達成をめざす SDGs の考えは、まさに私たちの活動の原点にある目標と同じともいえる。

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
出展タイトル	紙芝居と体験活動で、子どもたちと環境問題を考える
出展内容の紹介	保育園・幼稚園・小中学校での環境教育を通して、子どもたちと環境問題を中心に持続可能な暮らしやまちについて考えています。今回は授業の様子として、体験活動の様子とオリジナル紙芝居を紹介します。
SDGs 該当アイコン	4・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	私たちセンスオブアースは、「自然生態系」「食と暮らし」「自然エネルギー」の3つの分野で、これからの一人ひとりができることを考える環境教育プログラムを開発してきました。その一人ひとりができることの先にあるものが持続可能な暮らしであり、環境教育の実践により SDGs の担い手を育てていきたいと考えています。 海や陸の豊かさ、エネルギーや気候変動といったそれぞれの問題を考えることはもちろん、様々な視点を盛り込んだ「住み続けたい板橋のまち」を考えるプログラムも用意しています！

団体区分	法人・市民団体
団体名	おもちゃの病院
出展タイトル	地球の限りある資源を大切に有効活用を図る
出展内容の紹介	5R は Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Repair(リペア)、Return(リターン)、Recycle(リサイクル)の頭文字です。ごみの発生抑制と資源の有効利用を進め、環境への負荷が少ない循環型社会の実現につなげ、壊れた製品を有効的に再生を図る。
SDGs 該当アイコン	1・3・4・5・9・10・11・12・16・17
出展者の SDGs に対する考え方	老若男女・障害者・ジェンダー全ての人々の愛着・思い入れのある壊れた品・もの・製品を介し、どの様に再生して行くか会話の中から互いに知恵を出し合い最善策を見つけ出す。

団体区分	法人・市民団体
団体名	公益財団法人 東京都環境公社
出展タイトル	里山へ GO!
出展内容の紹介	人々の暮らしの中で営まれてきた農林業により、多様な動植物の宝庫として、また、美しい風景として引き継がれてきた「里山」の環境を保つための意識と理解を深めていただく活動についての紹介。
SDGs 該当アイコン	15
出展者の SDGs に対する考え方	かつて人々の暮らしの中で営まれてきた農林業によって引き継がれてきた「里山」には、人の手入れによって守られる昔ながらの美しい風景と、多様な生きものが共生できる環境が広がっています。 「里山へ GO!」は、森の手入れや田植えや稲刈りなど田んぼの活動、自然観察やクラフト体験などに参加いただくことにより、多様な生きものが共存する里山の環境を保つための意識と理解を深めていただく活動です。

団体区分	法人・市民団体
団体名	都立赤塚公園友の会
出展タイトル	武蔵野台地の自然を残す公園での保護活動
出展内容の紹介	都立赤塚公園をフィールドとしている6団体・グループの活動を紹介しています
SDGs 該当アイコン	3・5・11・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	自然を守る活動は直接的には「15.陸の豊かさを守ろう」の課題への取り組みですが、SDGsの17の項目のすべてに関わっていると意識して取り組んでいます。

団体区分	法人・市民団体
団体名	ハートワーク・こすもす
出展タイトル	板橋区障がい者就労支援実習店「こすもす」
出展内容の紹介	店内の装飾はすべて手作りで。ダンボール紙で作った家、輪投げ、花瓶の花やカーテン等可愛いので是非見にいらしてください。障がいをお持ちの方が描かれた絵も展示しています。
SDGs 該当アイコン	2・3・8・12・17
出展者の SDGs に対する考え方	提供している食材と量は、1日に必要な栄養素の一部(特に生野菜)をまかなえるようにしているため、健康づくり協力店の区長表彰を受けております。 SDGs8について 障がいをお持ちの方が当店で実習を終え、就労支援する事により本人とご家族に気持ちの余裕が生まれ、仕事を長く続けられる様にその後もサポートしていきます。

団体区分	法人・市民団体
団体名	身近な自然の観察・記録活動
出展タイトル	身の回りの自然を見つめよう
出展内容の紹介	都立赤塚公園の崖線と石神井川緑道で定期的に行っている植物の観察・記録活動から「身の回りの自然」を考えます
SDGs 該当アイコン	3・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	SDGsは人類が生き延びていくための課題を提示しているもの。自分たちが直接に関わっている課題から、ほかの17の全課題にも関心を寄せていくことが必要だと思います。

団体区分	法人・市民団体
団体名	和紙ちぎり絵の会
出展タイトル	和紙の特徴を使ってそれぞれの作品を作った
出展内容の紹介	今回は再生に関して考えてみようと思います。古いランプのかさ、古木、海、動物、鳥の住みやすい場所等を和紙の持つ色使いや貼り方により表現が出来れば良いと考えました。
SDGs 該当アイコン	7・11・12
出展者の SDGs に対する	今回展示の中で樹齢約400年以上で樹高130m幹廻約5mのむくの

考え方	き、樹幹上部が戦災により欠損、下部も幹に炭化した部分があり、幹の約半分の良好な組織から展開した枝、葉、により樹冠が構成されている。最近では街路樹、公園等の木々も朽ち果てて保護が必要な木々も見られる。樹木は空気の清浄化又人の心を癒し四季を楽しませてくれる。現在地球温暖化で木々にも、農作物、魚業等多くの物に悪影響を及ぼしている。二酸化炭素の排出を今私達の生活の中で少しでも多く減らす事を心かけていくべきと考える。
-----	---

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立 板橋第七小学校
出展タイトル	環境学習で学校を豊かに
出展内容の紹介	「緑のカーテン」の発生の学校して、緑のカーテンの育成を中心に様々な環境を大切にする取り組みをしています。その地道な取り組みを紹介させていただきます。
SDGs 該当アイコン	2・7・10・12・15
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs12,15を中心に考えています。緑のカーテンを中心とする緑化活動やできる限り物を無駄にせず、有効活用していくことなどを、学習活動だけでなく、日常生活にも織り込みながら、地道に取り組んでいます。それらが、「陸の豊かさを守る」ことや、「つくる責任・つかう責任」につながると考えます。

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立 板橋第二小学校
出展タイトル	学校から SDGs を発信しよう！！
出展内容の紹介	さまざまな教科の中で SDGs と関連させながら学習してきた。また、今年度は展覧会で「エコ&アート」というテーマで実施し、環境についての発表を行った。
SDGs 該当アイコン	2・3・6・12・13・15
出展者の SDGs に対する考え方	子ども環境大使任命校として、学校では最重要目標として教育目標に環境教育、SDGs に取り組む活動をかかげている。発達段階に応じた目標を持ち、自分事としてとらえ、行動できる児童を目指している。

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立 桜川小学校
出展タイトル	桜川小の自然観察園
出展内容の紹介	昨年度からの自然観察園の改修工事が終わりました。桜川おやじの会から子どもたちへ、たくさんの自然に触れて学んでほしいとの思いが伝えられました。安全な観察路が整備されたことで、今年度は子どもたちがいつでも自由に生き物を観察できるようになりました。授業はもちろん、休み時間にも好奇心をもって季節ごとの生き物と触れ合う子どもたちの姿が見られました。今後は、生態調査や区画ごとの植生の整備など、自然観察園のさらなる活用を検討していきます。
SDGs 該当アイコン	4
出展者の SDGs に対する	SDGs の目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に向けて、生活科・理

考え方	科の学習で「体験・実感・思考」に力を入れて取り組んでいます。低学年では、自然の事物や現象に親しみ触れ合う機会を多く体験させ、自然に対する気付きを高めさせています。中学年では、自然に触れ、自然の事物・現象から感受する活動をさせ、守るべき自然について考えさせています。高学年では、培った知識を活用し、環境問題の解決策を考えるなど、今の自分たちにできることを考え、行動できる児童の育成を進めています。
-----	---

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立 蓮根第二小学校
出展タイトル	～ビオトープや自然がいっぱい 蓮二小～
出展内容の紹介	蓮根第二小学校は、芝生やビオトープ、緑のカーテンなどに囲まれており自然が豊かです。1～6年生が授業で環境のことを学んだり、ごみ拾い活動などを通して地域と連携を図ったりしています。
SDGs 該当アイコン	12・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	蓮根第二小学校では、SDGs の目標達成のために板橋区保幼小中環境教育カリキュラムに基づいた授業を行っています。 1年生⇒たねをまこう 2年生⇒生き物いっぱいビオトープ 3年生⇒めざせ！ 生きものはかせ！ 4年生⇒快適 You&I エコポリス蓮二っ子 5年生⇒わたしたちにできる環境への取組 6年生⇒蓮 ハス はすの大研究 また、委員会活動では、環境ビオトープ芝委員会を中心としてビオトープの管理をしています。ビオトープを維持していくために、話し合ったり環境新聞を作成したりしています。

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立 緑小学校
出展タイトル	地域とともに進めるESD
出展内容の紹介	校舎裏には竹林が広がっており、シイの原木を使ったシイタケの栽培も行っています。地域のサンシティ・グリーンボランティア(SGV)の方々にご協力いただき、年間を通して様々な自然体験活動を行いました。
SDGs 該当アイコン	4・11・12・13・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	管理のために切られた木の枝や竹、脱穀後の稲藁といったもので、生活で活用できるものを作るという活動は、まさに森林資源の持続可能な利用であると考えています。本校が今まで地域の方々で行ってきた活動を通して、身近なところからSDGsは始められるという気付きを児童に与えられればと思っています。また本年度からは新たにビオトープの作成が始まり、各学年の学習と関わり合いながら今まで以上にESDを推進していきます。小学校でこれらの活動を体験した児童が、これからの持続可能な社会の創り手となることを目指しています。

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立 高島第一中学校
出展タイトル	高島第一中学校の環境に関する取組
出展内容の紹介	食物連鎖や森林破壊・砂漠化、電力、環境について考える授業、ポスター作り、ペットボトルのキャップやコンタクトレンズの容器回収や残菜ゼロをめざす食育、グリーンカーテンの育成、節電活動等をおこなっています。
SDGs 該当アイコン	2・3・7・11・12・13・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	地球上にすむ生物は地球の豊かな自然の恩恵を受けながら暮らしている。更に人間は貴重な資源を使い、科学技術を利用し、便利な暮らしをしている。しかし、人間が科学技術の利用をした結果、環境へ悪い影響を及ぼしている。だからこそ、科学技術を利用し、全ての人間が安全で豊かで健康的な生活ができる環境をつくること、地球上の自然や生物を守ること、地球上の全ての生物がずっと生きていける持続可能な環境作りが必須である。地球のため、未来のために、日頃から私たちにできることを考え、実行していくことが大切だと考えている。

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立 西台中学校
出展タイトル	西台中学校と SDGs
出展内容の紹介	西台中学校で行っている環境を守ることにつながる5つの活動について、SDGs と関連づけてまとめました。これらは環境だけを守るだけでなく人の健康を守ることや、私たちがより住みやすくなることにもつながっています。
SDGs 該当アイコン	3・11・12・13
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs は今の地球に住み続けるための世界中の皆で活動していくべき目標だと思います。1人が頑張るのではなく世界で協力していくことによって、世界の仲が深まると環境以外の問題も解決の方向へ向かうのではないかと考えています。その為、SDGs は環境を守るだけで終わらせずに、世界で仲良くするきっかけにして欲しいです。

団体区分	大学
団体名	東京家政大学 環境教育学科
出展タイトル	田植え実習報告&世界のエネルギー情勢
出展内容の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・田植えの実習についての紹介 →学生が田植えの実習に行った際の報告を紹介します。田んぼの話から、食糧に関する内容について報告します。 ・世界のエネルギー情勢 →環境問題などのいくつかの観点から、世界各国が取っている、もしくは目指しているエネルギーに関する取組を報告します。
SDGs 該当アイコン	2・4・7・9・10・11・12・13
出展者の SDGs に対する考え方	今回の展示には、環境教育学科に所属する有志学生4名が参加しています。この学科で勉強をする中で、SDGs の17の目標の内、エネルギー(7)、気候変動(13)に関する内容に特に関心が集まりました。

	<p>SDGs の 17 の目標は、1 つの問題が独立している訳ではなく、複数の目標が有機的に結びついたものであると考えています。</p> <p>大学で勉強している内容が近いという事もあり、私達はエネルギーや気候変動などの環境問題を特に重視していますが、これらの問題を解決に近付けるためには他の目標など、様々な観点から考慮する必要があると感じています。</p>
--	--

団体区分	企業
団体名	株式会社 日本フードエコロジーセンター
出展タイトル	食品ロスに新たな価値を～飼料化の取組み
出展内容の紹介	弊社では余剰等で廃棄されてしまう食品を養豚用の液状飼料へリサイクルしています。第 2 回「ジャパン SDGs アワード」で最優秀賞を受賞する等、食品ロスの有効利用として高く評価されている取組みをご紹介します。
SDGs 該当アイコン	2・3・7・8・12・13・17
出展者の SDGs に対する考え方	弊社の事業は食品ロスを飼料の原料として活用し、食品廃棄の削減と温室効果ガスの発生抑制、良質な飼料の提供を同時に実現しています。作業の一部を就労支援施設に委託することで障がい者の就労にも繋がりました。これらはいずれも SDGs 達成に貢献するものと考えていますが、SDGs のためにこの事業を始めたのではなく、社会課題を解決するために行っている事業が SDGs の観点から評価された形です。逆に言えば、企業が目指す目的や社会課題の解決のために必要な取組みを考える際の指針となるのが SDGs だと考えています。

団体区分	企業
団体名	株式会社 増渕商店
出展タイトル	分別をしてリサイクルしよう
出展内容の紹介	事業系の廃棄物回収を通じて、ゴミを分別してリサイクルする事の大切さをご紹介します。
SDGs 該当アイコン	4・5・7・8・9・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	私たちは「廃棄物処理」という環境問題の最側面の事業に位置していることから、環境保全を第一の重要課題として取り組みます。大切な地球全体と母国である日本、そして地域への貢献、さらにこれからの未来を創る子供たちに「何を残せるか」が重要な役割と考えています。中小企業である私たちが飾らずに「私たちが出来ること、私たちだからできること」を基本に環境保全を第一に考え、持続可能な社会づくりの発展に貢献します。

団体区分	企業
団体名	株式会社 マップ
出展タイトル	大型緑のカーテン
出展内容の紹介	板橋区で独自の栽培方法を用いた「大型の緑のカーテン」を手掛けております。 板橋区役所本庁舎や小中学校などで採用いただいております。暑熱対策や食育・都市緑化・教材・節電など様々な目的で利用されております。

SDGs 該当アイコン	4・11・13
出展者の SDGs に対する考え方	当社は灌水装置(植物への水やり装置)に特化した会社です。2003年に板橋区内の小学校で独自の灌水技術と栽培方法を用いて、屋上まで壁面を覆う「大型の緑のカーテン」を育成することに成功しました。これをきっかけに、現在まで都内を中心に100か所以上で緑のカーテンを手掛けてきました。今後も緑のカーテンを通じて、少しでも SDGs に貢献できるように努めていきます。

団体区分	企業
団体名	東京ガス(株) 東京東支店
出展タイトル	各ご家庭でできるCO2排出削減のご提案をいたします
出展内容の紹介	各ご家庭でできるCO2排出削減のご提案をいたします
SDGs 該当アイコン	7・9・11・12・13・17
出展者の SDGs に対する考え方	東京ガスグループは、事業活動を通じた社会課題の解決によって社会価値および財務価値を創出し、持続的な企業経営を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

団体区分	行政
団体名	板橋区 環境政策課 環境教育係
出展タイトル	緑のカーテン&環境教育プログラムの紹介
出展内容の紹介	「緑のカーテン」の育て方や、副産物の活用方法等を紹介しします。また、板橋区が独自に開発した「環境教育プログラム」を紹介しします。
SDGs 該当アイコン	4・7・12・13・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	環境問題を改善するためには、一人ひとりの意識を変える必要があると思います。意識変革のきっかけづくりとして、「環境教育」や「環境啓発」は非常に重要なものと考えています。板橋区では、「緑のカーテン普及啓発」や「環境教育プログラム」の実践を推奨しており、どちらも身近な環境をテーマとした、取り組みやすい活動です。これらの活動を推奨することで、皆さまの環境に対する意識の向上に繋がれば幸いです。

団体区分	行政
団体名	板橋区 環境政策課 自然環境保全係
出展タイトル	板橋の自然を知ろう!守ろう!
出展内容の紹介	生物多様性を守るための活動をしています。板橋区の河川生物の紹介や、ハクビシン等について情報提供を行い外来生物との関わりについてご案内しています。また、湧水の保全のため雨水貯留タンクの助成制度をお知らせいたします。
SDGs 該当アイコン	6・11・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	区の自然環境の実態を踏まえた生物多様性の保全を推進し、人と生きものが共生できるまちをめざしています。崖線の緑や湧水、荒川の豊かな自然、石神井川等の中小河川など、板橋の緑や水環境を保全します。

	雨水が地下に浸透するよう、雨水浸透設備や雨水貯留設備についての補助制度を行い、湧水保全のための取り組みを進めます。区内の自然とふれあう機会を増やし、多くの区民の方々が板橋区の自然に対する関心を高めて自然の恵みを実感できるようにします。これらの取り組みを通して SDGs の目標達成に寄与していきたいと考えています。
--	---

団体区分	行政
団体名	板橋区 環境政策課 脱炭素社会推進係
出展タイトル	脱炭素社会の実現に向けて
出展内容の紹介	温室効果ガスの排出の多い家庭部門や業務部門の排出削減の取組をはじめとして、全ての区民や事業者、団体など地域の各主体が協働・連携し、SDGsの関連するゴールの達成をめざします。
SDGs 該当アイコン	3・4・6・7・9・11・12・13・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	近年、地球温暖化による異常気象や自然災害の発生など気候変動の影響が表れており、今後ますます大きくなることが科学的に示されています。板橋区環境政策課では、二酸化炭素の人為的な排出と吸収量をバランスさせ、実質ゼロにする「脱炭素社会」実現のために、区民や事業者の皆さまと共に、地球温暖化防止に配慮した取り組みを実践していきます。

団体区分	行政
団体名	板橋区立エコポリスセンター
出展タイトル	板橋の環境教育ならエコポリスにお任せ！
出展内容の紹介	エコポリスセンターは 1995(平成 7)年に全国に先駆けて設立された環境学習施設です。建物もエコロジカルに機能！子どもから大人まで幅広い世代を対象に環境に関する様々なイベントや講座、出前授業を実施しています。
SDGs 該当アイコン	4・6・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	当館は、自然・資源循環・エネルギーの分野など SDGs に関連した授業や講座やイベントを、年代やニーズに合わせて展開しています。様々な世代向けにメニューを用意した講師派遣事業や、緑のカーテン事業(育成講習会、コンテストなど)、環境活動に主体的に参加できる道筋を提供する「板橋エコみらい塾」や教員研修などの指導者養成事業といった体験的な学びの機会を創出するだけでなく、リユース工作展示や区民団体の成果展示なども充実させています。また、区内で活動する個人・団体の方々が自発的に環境活動に参加できる機会も設けています。

団体区分	行政
団体名	板橋区立リサイクルプラザ
出展タイトル	3Rを身近に楽しく実践！
出展内容の紹介	リサイクルプラザでは、不用品の回収・販売や交換イベント、環境講座の開催など、ごみの減量や3Rを身近に楽しく実践しています。また、区内で回収されたびん・缶の資源化施設を併設し見学することもできます。
SDGs 該当アイコン	2・4・7・11・12・13・14・15・17

出展者の SDGs に対する考え方	当館は資源循環型社会、脱炭素化社会に向けごみ減量や 3R の実践・啓発に取り組んでいます。ご家庭で不用になった衣類・雑貨・家具のリユースを図るショップ運営や、おもちゃや子供服の交換イベント、環境学習講座や体験講座の開催など、大人から子供まで楽しみながら環境について考え行動する機会を提供しています。また、区内で回収されたびん・缶を資源化するため選別・破碎・圧縮する中間処理施設はガラス越しに見学することができ、「生の現場」をリアルに感じていただくことで、環境に配慮した日常生活を家庭で実践するきっかけ作りとしています。
-------------------	---

団体区分	行政
団体名	東京二十三区清掃一部事務組合 板橋清掃工場
出展タイトル	板橋清掃工場の取組
出展内容の紹介	東京二十三区のごみの中間処理についての紹介です。工場ではごみ焼却時に発生する熱エネルギーを有効利用し、近隣の区施設等へ熱供給を行っています。また、壁面緑化によりヒートアイランド現象を抑制し、周囲の景観との調和を図っています。
SDGs 該当アイコン	4・5・6・7・8・11・13・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	環境負荷を低減した工場運営に取り組んでいます。排ガスや排水の厳しい排出基準を順守し、ごみ焼却時に発生した熱を使って発電と熱供給を行っています。焼却灰の一部をセメント原料とすることで埋立量を減らし、最終処分場の延命化に努めています。壁面緑化によりヒートアイランド現象を抑制し、周囲の景観との調和を図っています。

3. 実施結果～リアル展示～

団体区分(法人・市民団体・大学・企業・行政)ごとに 50 音順で掲載。

団体区分	法人・市民団体
団体名	板橋切り絵愛好会
出展タイトル	切り絵で人生を豊かにしよう。
出展内容の紹介	再生率の高い和紙を使用し、環境に優しく・手先と頭脳を使い健康とポケ防止で余生を豊かに送る。
SDGs 該当アイコン	3・8・17
出展者の SDGs に対する考え方	切り絵には再生率の高い和紙を使用し、地球環境にやさしく・仲間同士のパートナーシップで自分の作品の幅を広げる。自分だけのオリジナルな作品を創作することで手先と頭脳の活性化が健康で豊かな人生をささえる。

団体区分	法人・市民団体
団体名	板橋区の蝶を調査する会
出展タイトル	板橋区で見られる蝶
出展内容の紹介	生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進には、現在の生態系の状況を把握することが必要です。「板橋区の蝶を調査する会」では、板橋区の蝶を主体にした観察・調査を 16 年間継続してきた結果をお知らせします
SDGs 該当アイコン	11・15
出展者の SDGs に対する考え方	自然生息地の劣化を抑制、生物多様性の損出を阻止、絶滅危惧種の保護、防止を図るには、現状の基礎データを把握することが必要です。住み続けられるまちづくりには基礎データを有効活用することが望まれます。

団体区分	法人・市民団体
団体名	いたばし水と緑の会
出展タイトル	板橋区で見られる蝶
出展内容の紹介	自然と共存するまちづくりをめざし、赤塚公園城址周辺で生き物達がすすめるトンボ池とバッタ広場(ビオトープという)をつくり、最小限の草刈などの手入れをしながら自然とおつきあいをしています。
SDGs 該当アイコン	15
出展者の SDGs に対する考え方	私たちの活動は、SDGs と言えば 15「陸の豊かさを守ろう」になり、陸の自然(生物多様性)を破壊して作り上げてきた人間中心の文明を見直すことです。いろいろな方法がありますが、都会に住む人間として、身近な自然を豊かにして大切にすることができます。 私たちが活動するバッタ広場とトンボ池では、身近な自然を感じ、私たちも自然界の一員であることを学ぶフィールドです。

団体区分	法人・市民団体
団体名	一般社団法人ソーラーシステム振興協会
出展タイトル	そらエネ！もっと使おう太陽熱
出展内容の紹介	再生可能エネルギーである太陽熱エネルギーを利用する、環境にやさしい「そらエネ」(太陽熱利用システム)を普及させることにより、地球温暖化の原因であるCO2排出量の削減に貢献し地球の環境を守ることをめざします。
SDGs 該当アイコン	7・12・13
出展者のSDGsに対する考え方	再生可能エネルギーである太陽熱エネルギーを利用する環境にやさしい「太陽熱利用システム」の更なる普及を目指します。 環境や人体への影響に考慮した材料を使用し、製品の再利用を考え、廃棄物の削減を目指します。 「太陽熱利用システム」を普及させる事により、地球温暖化の原因であるCO2排出量の削減に貢献します。

団体区分	法人・市民団体
団体名	エコ紙漉きはがき絵の会
出展タイトル	牛乳パックで手作りはがき
出展内容の紹介	牛乳パックでパルプを作り、はがきを漉き、手づくりのはがきを作ります。手づくりのはがきに水彩・貼り絵・切り絵・新聞のカラー広告を利用してのちぎり絵を作画します。上記の作品を牛乳パック、ダンボールあき箱で作った壁飾りにします。
SDGs 該当アイコン	12・15
出展者のSDGsに対する考え方	しんりんのたくさんの木々を守るために、牛乳パックをリユースしてはがきを作り、牛乳パックそのものをリユース(工作)して小さなことから協力したいと思っています。身の回りのことから、子どもたちと楽しみながらリユースしてみつめたい。

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 いた・エコ・ネット
出展タイトル	設立7年目の環境NPO 多角的に環境活動を展開
出展内容の紹介	5つのプロジェクト(PT):①いたばしオーガニックコットン栽培・普及活動PT、②福島被災地ボランティア活動PT、③自然エネルギー普及活動PT、④環境教育実践活動PT、⑤5R推進・普及活動PTを実践しています。
SDGs 該当アイコン	4・7・12・15・17
出展者のSDGsに対する考え方	私たちは、「赤塚公園でのコットン栽培」を通して自然農法を学び伝え、「福島訪問」(ふくしまオーガニックコットン支援・浜通り復興の状況視察)や「小型太陽光発電パネル試作」により原発・自然エネルギー問題を考え伝え、「区民祭生ごみ回収」等により5Rを実践し、それらの学びを「学校出前授業」や「夏エコスクール等各種イベントでのワークショップ」による環境教育に反映させています。学びの場・教える場・交流の場を通じたパートナーシップを大切にしています。

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 SDGs いたばしネットワーク
出展タイトル	つながろう！みんなで希望の未来創り
出展内容の紹介	①当会「SDGsいたばしネットワーク」の紹介②私たちが今取り組んでいることとこれから③地域ブロックの活動、表現活動、課題解決PJ、協働学習PJの現況報告
SDGs 該当アイコン	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs の基本理念「誰も置き去りにしない」に深く共感するものです。かけがえのない命、そして地球が悲鳴を上げている今、SDGs17を具体的に進め、この尊い生命と地球を守らなければならないのです。そのために、多様な関係機関や団体、そして子どもから大人までの地域住民がつながり、みんなで知恵と力をだしあっていくことが求められているのです。

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 みずみくにん(水未来人)
出展タイトル	街からみんなで聴こう「海の声」
出展内容の紹介	プラスチックゴミによる海洋汚染は世界中で大きな問題です。海のゴミの多くは、街から出たものです。日常生活からゴミ問題を考えることは海の環境保全につながります。
SDGs 該当アイコン	11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	「海辺の自然を守る」ということは、今そこにある海辺のゴミを拾うだけでは継続的に自然を守ることにはつながらない。 日常生活における大気汚染、水質汚染、プラスチックゴミ問題など、経済的活動の視点から環境保全を考えることが必要であるといける。 ひとりの力では解決できない課題も、多くの人々、様々な分野の人たちで協力して取り組めば、よりよい未来をつくることが出来るかもしれない。 世界中の人々が協力して取り組む17の目標達成をめざす SDGs の考えは、まさに私たちの活動の原点にある目標と同じともいえる。

団体区分	法人・市民団体
団体名	オール東京 62「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
出展タイトル	オール東京 62 の温暖化対策・みどりの保全
出展内容の紹介	温室効果ガスの削減やみどりの保全について、東京都内の全 62 市区町村が連携・共同して取り組む事業の紹介
SDGs 該当アイコン	4・7・11・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	2030 年までの開発目標として国連が打ち出し、世界で取り組みが進む。日本でも政府が率先し、マスコミはじめ経済界や多くの企業で今、積極的な広報とプロジェクトが進められる。17 の目標はすべて人類が直面する持続性を危ぶむ問題であり、複雑に絡みあい解決は至難である。50 年、100 年の計で見れば必ず解決が必要であり、すべての国や組織、個人が真剣に今を見直し、新たな社会システムとライフスタイルが求められる。一過性のキャンペーンで終わらず、存続をかける真剣な取り組みの起点に位置付けられるように思う。

団体区分	法人・市民団体
団体名	おもちゃの病院
出展タイトル	地球の限りある資源を大切に有効活用を図る
出展内容の紹介	5R は Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Repair(リペア)、Return(リターン)、Recycle(リサイクル)の頭文字です。ごみの発生抑制と資源の有効利用を進め、環境への負荷が少ない循環型社会の実現につなげ、壊れた製品を有効的に再生を図る。
SDGs 該当アイコン	1・3・4・5・9・10・11・12・16・17
出展者の SDGs に対する考え方	老若男女・障害者・ジェンダー全ての人々の愛着・思い入れのある壊れた品・もの・製品を介し、どの様に再生して行くか会話の中から互いに知恵を出し合い最善策を見つけ出す。

団体区分	法人・市民団体
団体名	公益財団法人 東京都環境公社
出展タイトル	里山へ GO!
出展内容の紹介	人々の暮らしの中で営まれてきた農林業により、多様な動植物の宝庫として、また、美しい風景として引き継がれてきた「里山」の環境を保つための意識と理解を深めていただく活動についての紹介。
SDGs 該当アイコン	15
出展者の SDGs に対する考え方	かつて人々の暮らしの中で営まれてきた農林業によって引き継がれてきた「里山」には、人の手入れによって守られる昔ながらの美しい風景と、多様な生きものが共生できる環境が広がっています。「里山へ GO!」は、森の手入れや田植えや稲刈りなど田んぼの活動、自然観察やクラフト体験などに参加いただくことにより、多様な生きものが共存する里山の環境を保つための意識と理解を深めていただく活動です。

団体区分	法人・市民団体
団体名	新婦人絵手紙サークル(くちなし班)
出展タイトル	春の歳時記
出展内容の紹介	自然に生える草木、花、虫などを描いて日本の季節を感じたり、癒されるように伝えたいと思います。私たちがゆとりある生活ができますよう願っております。
SDGs 該当アイコン	12・15
出展者の SDGs に対する考え方	開発が行き過ぎると人間と動物の生活範囲の境がなくなっているいろいろな問題が起きています。人間と動物がうまく調和できるようになってほしいと思います。

団体区分	法人・市民団体
団体名	都立赤塚公園友の会
出展タイトル	武蔵野台地の自然を残す公園での保護活動
出展内容の紹介	都立赤塚公園をフィールドとしている6団体・グループの活動を紹介しています
SDGs 該当アイコン	3・5・11・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	自然を守る活動は直接的には「15.陸の豊かさを守ろう」の課題への取り組みですが、SDGsの17の項目のすべてに関わっていると意識して取り組んでいます。

団体区分	法人・市民団体
団体名	ハートワーク・こすもす 軽食喫茶 こすもす
出展タイトル	板橋区障がい者就労支援実習店「こすもす」
出展内容の紹介	店内の装飾はすべて手作りです。ダンボール紙で作った家、輪投げ、花瓶の花やカーテン等可愛いので是非見いらしてください。障がいをお持ちの方が描かれた絵も展示しています。
SDGs 該当アイコン	2・3・8・12・17
出展者の SDGs に対する考え方	提供している食材と量は、1日に必要な栄養素の一部(特に生野菜)をまかなえるようにしているため、健康づくり協力店の区長表彰を受けております。 SDGs8について 障がいをお持ちの方が当店で実習を終え、就労支援する事により本人とご家族に気持ちの余裕が生まれ、仕事を長く続けられる様にその後もサポートしていきます。

団体区分	法人・市民団体
団体名	身近な自然の観察・記録活動
出展タイトル	身の回りの自然を見つめよう
出展内容の紹介	都立赤塚公園の崖線と石神井川緑道で定期的に行っている植物の観察・記録活動から「身の回りの自然」を考えます
SDGs 該当アイコン	3・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs は人類が生き延びていくための課題を提示しているもの。自分たちが直接に関わっている課題から、ほかの17の全課題にも関心を寄せていくことが必要だと思います。

団体区分	法人・市民団体
団体名	和紙ちぎり絵の会
出展タイトル	和紙の特徴を使ってそれぞれの作品を作った
出展内容の紹介	今回は再生に関して考えてみようと思います。古いランプのかさ、古木、海、動物、鳥の住みやすい場所等を和紙の持つ色使いや貼り方により表現が出来れば良いと考えました。
SDGs 該当アイコン	7・11・12
出展者の SDGs に対する考え方	今回展示の中で樹齢約 400 年以上で樹高 130m 幹廻約 5m のむくのき、樹幹上部が戦災により欠損、下部も幹に炭化した部分があり、幹の約半分の良好な組織から展開した枝、葉、により樹冠が構成されている。最近では街路樹、公園等の木々も朽ち果てて保護が必要な木々も見られる。樹木は空気の清浄化又人の心を癒し四季を楽しませてくれる。現在地球温暖化で木々にも、農作物、魚業等多くの物に悪影響を及ぼしている。二酸化炭素の排出を今私達の生活の中で少しでも多く減らす事を心かけていくべきと考える。

団体区分	大学
団体名	東京家政大学 環境教育学科
出展タイトル	田植え実習報告 & 世界のエネルギー情勢
出展内容の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・田植えの実習についての紹介 → 学生が田植えの実習に行った際の報告を紹介します。田んぼの話から、食糧に関する内容について報告します。 ・世界のエネルギー情勢 → 環境問題などのいくつかの観点から、世界各国が取っている、もしくは目指しているエネルギーに関する取組を報告します。
SDGs 該当アイコン	2・4・7・9・10・11・12・13
出展者の SDGs に対する考え方	<p>今回の展示には、環境教育学科に所属する有志学生 4 名が参加しています。</p> <p>この学科で勉強をする中で、SDGs の 17 の目標の内、エネルギー(7)、気候変動(13)に関する内容に特に関心が集まりました。</p> <p>SDGs の 17 の目標は、1 つの問題が独立している訳ではなく、複数の目標が有機的に結びついたものであると考えています。</p> <p>大学で勉強している内容が近いという事もあり、私達はエネルギーや気候変動などの環境問題を特に重視していますが、これらの問題を解決に近付けるためには他の目標など、様々な観点から考慮する必要があると感じています。</p>

団体区分	企業
団体名	株式会社 増渕商店
出展タイトル	分別をしてリサイクルしよう
出展内容の紹介	事業系の廃棄物回収を通じて、ゴミを分別してリサイクルする事の大切さをご紹介します。
SDGs 該当アイコン	4・5・7・8・9・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	私たちは「廃棄物処理」という環境問題の最側面の事業に位置していることから、環境保全を第一の重要課題として取り組みます。大切な地球全体と母国である日本、そして地域への貢献、さらにこれからの未来を創る子供たちに「何を残せるか」が重要な役割と考えています。中小企業である私たちが飾らずに「私たちが出来ること、私たちだからできること」を基本に環境保全を第一に考え、持続可能な社会づくりの発展に貢献します。

団体区分	企業
団体名	株式会社 空調服
出展タイトル	空調服®を着て、エコ!!
出展内容の紹介	空調服®はエアコンなどに比べて使用するエネルギーが少ないので、環境にやさしく、さらに電気代の節約にもなります。 節電はエコにつながります。空調服®を着てエコ活動しましょう!
SDGs 該当アイコン	7・13
出展者の SDGs に対する考え方	弊社では、空調服®及び関連商品の企画・販売を行っております。 空調服®とは服に付いたファンで服の中に外気を取り入れ、生理クーラーを補助し、体の表面に大量の風を流すことにより、汗を気化し最適な状態に体表を冷やす事で常に涼しく快適にすごせます。 使用するエネルギーもエアコンなどに比べて格段に少なく、環境にも配慮した製品です。 空調服®やその他製品により暑さ対策にかかるエネルギーを大幅に削減し 地球環境改善に大きく寄与し、「生理クーラー®社会」の実現を目指すことを理念に、SDGs と関連する取り組みを行っています。

団体区分	企業
団体名	東京ガス(株) 東京東支店
出展タイトル	CO2 を減らすための取り組み
出展内容の紹介	各ご家庭でできるCO2排出削減のご提案をいたします
SDGs 該当アイコン	7・9・11・12・13・17
出展者の SDGs に対する考え方	東京ガスグループは、事業活動を通じた社会課題の解決によって社会価値および財務価値を創出し、持続的な企業経営を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

団体区分	行政
団体名	板橋区 環境政策課 自然環境保全係
出展タイトル	板橋の自然を知ろう!守ろう!
出展内容の紹介	板橋区内で見られる生き物を紹介します。ハクビシン等について情報提供を行い、外来生物との関わりについて考えてもらいます。また、湧水の保全のため、雨水浸透ます、雨水貯留タンクの助成制度をPRします。
SDGs 該当アイコン	6・11・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	区の自然環境の実態を踏まえた生物多様性の保全を推進し、人と生きものが共生できるまちをめざしています。崖線の緑や湧水、荒川の豊かな自然、石神井川等の中小河川など、板橋の緑や水環境を保全します。雨水が地下に浸透するよう、雨水浸透設備や雨水貯留設備についての補助制度を行い、湧水保全のための取り組みを進めます。区内の自然とふれあう機会を増やし、多くの区民の方々が板橋区の自然に対する関心を高めて自然の恵みを実感できるようにします。

団体区分	行政
団体名	板橋区 環境政策課 脱炭素社会推進係
出展タイトル	脱炭素社会の実現に向けて
出展内容の紹介	温室効果ガスの排出の多い家庭部門や業務部門の排出削減の取組をはじめとして、全ての区民や事業者、団体など地域の各主体が協働・連携し、SDGsの関連するゴールの達成をめざします。
SDGs 該当アイコン	3・4・6・7・9・11・12・13・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	近年、地球温暖化による異常気象や自然災害の発生など気候変動の影響が表れており、今後ますます大きくなるのが科学的に示されています。板橋区環境政策課では、二酸化炭素の人為的な排出と吸収量をバランスさせ実質ゼロにする「脱炭素社会」実現のために、区民や事業者の皆さまと共に、地球温暖化防止に配慮した取り組みを実践していきます。

団体区分	行政
団体名	板橋区 みどりと公園課
出展タイトル	板橋区の森と緑化助成の紹介
出展内容の紹介	板橋区は友好都市である栃木県日光市から分収造林を譲渡していただき「板橋区の森」として管理しています。本ブースでは、板橋区の森での森林ボランティアの活動や、民間施設への緑化助成の紹介を行っています。
SDGs 該当アイコン	11・15
出展者の SDGs に対する考え方	板橋区みどりと公園課ではSDGsに関連する様々な事業を行っています。例えば、緑化推進事業として民間施設への緑化(接道部、屋上部、壁面)に対する助成や、友好都市である日光市から譲渡していただいた「板橋区の森」の維持管理事業、身近な緑を知る一環として緑のガイドツアーなどを実施しています。身近な住環境への緑を増やすことは、地域の魅力や居住環境の向上に寄与するとともに、防災・減災、地球温暖化進行の抑制など、多様な効果をもたらします。

団体区分	行政
団体名	板橋区立エコポリスセンター
出展タイトル	板橋の環境教育ならエコポリスにお任せ！
出展内容の紹介	当館スタッフによるエコポリスセンターの紹介
SDGs 該当アイコン	4・6・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	当館は、自然・資源循環・エネルギーの分野など SDGsに関連した授業や講座やイベントを、年代やニーズに合わせて展開しています(延べ参加者5万人以上)。様々な世代向けにメニューを用意した講師派遣事業や、緑のカーテン事業(育成講習会、コンテストなど)、環境活動に主体的に参加できる道筋を提供する「板橋エコみらい塾」など、体験的な学びの機会を創出するだけでなく、リユース工作展示や区民団体の成果展示なども充実させています。また、区内で活動する個人・団体の方々が自発的に環境活動に参加できる機会も設けています。

団体区分	行政
団体名	東京二十三区清掃一部事務組合 板橋清掃工場
出展タイトル	板橋清掃工場の取組
出展内容の紹介	東京二十三区のごみの中間処理についての紹介です。工場ではごみ焼却時に発生する熱エネルギーを有効利用し、近隣の区施設等へ供給を行っています。また、壁面緑化によりヒートアイランド現象を抑制し、周囲の景観との調和を図っています。
SDGs 該当アイコン	4・5・6・7・8・11・13・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	環境負荷を低減した工場運営に取り組んでいます。排ガスや排水の厳しい排出基準を順守し、ごみ焼却時に発生した熱を使って発電と熱供給を行っています。焼却灰の一部をセメント原料とすることで埋立量を減らし、最終処分場の延命化に努めています。壁面緑化によりヒートアイランド現象を抑制し、周囲の景観との調和を図っています。

4. ワークショップ

2月5日(土)

タイトル	オリジナルエコバッグを作ろう!!
団体名	株式会社 空調服
日時	2月5日(土) 10:00~11:00
場所	エコポリスセンター視聴覚ホール
内容	エコバッグをにスタンプやお絵かきをして自分だけのエコバッグを作る。
参加者数	49名

タイトル	再生紙で水族かんバッジ
団体名	板橋区立エコポリスセンター
日時	2月5日(土) 14:00~15:00
場所	エコポリスセンター視聴覚ホール
内容	再生紙に印刷した水槽風のデザインや魚に色塗りやオリジナルの絵を描いてもらい、缶バッジにしてプレゼントする。
参加者数	46名

タイトル	海辺のマグネットを作ろう!
団体名	NPO 法人 みずみくにん(水未来人)
日時	2月5日(土) 10:00~11:00
場所	エコポリスセンター環境研修室
内容	ペットボトルのキャップを再利用し、海辺で拾った貝がらやシーグラスを飾り付けてオリジナルマグネットを作るまた、海に流れ着くごみについて考えてもらう。
参加者数	55名

タイトル	東京各地の環境の取り組みを見てみよう
団体名	オール東京 62「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
日時	2月5日(土) 14:00~15:00
場所	エコポリスセンター環境研修室
内容	東京都の地図を使った展示をはじめ、バナーを立てた展示やQRコードを読み取って見られる展示を実施。
参加者数	29名

2月6日(日)

タイトル	再生紙で水族かんバッジ※
団体名	板橋区立エコポリスセンター
日時	2月6日(日) 10:00~11:00
場所	エコポリスセンター視聴覚ホール
内容	再生紙に印刷した水槽風のデザインや魚に色塗りやオリジナルの絵を描いてもらい、缶バッジにしてプレゼントする。
参加者数	51名

※ワークショップ実施予定の団体が出展を見合わせたため、代替で実施

タイトル	どんぐりコロコロくるとコマづくり
団体名	NPO 法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
日時	2月6日(日) 10:00~11:00
場所	エコポリスセンター研修室
内容	穴を開けておいたどんぐりに、軸となる爪楊枝をさしたあと色付けをしてコマを作る。また、どんぐりに絵を描きどんぐりの人形を作る。
参加者数	28名

タイトル	間伐材でおもしろ顔工作
団体名	公益財団法人 東京都環境公社
日時	2月6日(日) 14:00~15:00
場所	エコポリスセンター研修室
内容	輪切りの間伐材に木の実や草の実、木片、花びらなどを木工用ボンドで貼って顔の形にし、バッジやペンダントを作る。
参加者数	41名

タイトル	リユース de フリンジバッジ
団体名	板橋区立エコポリスセンター
日時	2月6日(日) 14:00~15:00
場所	エコポリスセンター視聴覚ホール
内容	毛糸や、木の実、貝殻、ボタン等を使ってフリンジバッジを作る。
参加者数	38名

5. 見本市ギャラリー



オンラインもリアル展示も楽しもう！
 今回のテーマは「SDGsとわたしたちの暮らし」
第21回 環境 Web版 なんて見本市
 令和4年2月1日(火) 9:00～3月1日(火) 12:00
 詳しくはエコポリスセンターのHPへ！
主催：事務局、企画・運営：協力：見本市実行委員会 問合せ：事務局エコポリスセンター TEL 03-3870-5901



地球の環境を維持・改善していくためには、私たち一人ひとりが身近なことから取り組み、環境に優しいライフスタイルにすることが求められています。本イベントは、これまで区内最大級の環境イベントとして、板橋区内外で行われている様々な環境活動や環境にやさしい暮らし方などを紹介してきました。今年度は昨年度に引き続きWeb上での展示に加え、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上でエコポリスセンター館内での展示や、ワークショップの開催も予定しております。より多くの方にWebと館内で様々な環境活動に触れていただき、私たち自らが何ができるのか考えていただく機会となれば幸いです。

【海辺の環境教育「漂着プラスチックゴミを考える」】



【海辺の自然体験活動「スノーケリング教室」】



見本市実行委員会や出展団体のみなさまとともに作り上げました！

▲リアル展示場所抽選の様子

▲見本市実行委員会とリアル展示出展団体のみなさまで「えいせいおー！」

▲見本市実行委員会 ▲リアル展示設置の様子

◆オンライン展示 (Web) ～いつでも、どこからでも閲覧できる！

環境活動に取り組む様々な団体の活動・成果や、板橋区で子ども環境大使※に任命された小中学校による成果を、取り組んでいるSDGsの目標別にオンライン展示でご紹介します。また、出展団体の紹介ページにはクイズがありますので、団体の活動内容をクイズを通して楽しく学べます！ぜひトライしてみてください。

【オンライン展示 出展団体】(33団体)
 法人・市民団体 (15団体)、小中学校 (7団体)、大学 (1団体)、企業 (4団体)、行政 (6団体)
 ※オンライン展示出展団体は、[こちら](#)をご覧ください。

日時：令和4年2月1日(火) 9:00～3月1日(火) 12:00

※ESD（持続可能な開発のための教育）の推進拠点として、エコポリスセンターが任命している区立小中学校でユネスコスクールに加盟または申請中の学校です。

☆動画紹介☆

【自赤塚公園コットン栽培の一年】
 コットン栽培の一年間の記録と収穫コットンの使用について



【小型太陽光パネルの制作】
 親子手づくり「パネル講座と遊藝小型」パネル制作紹介

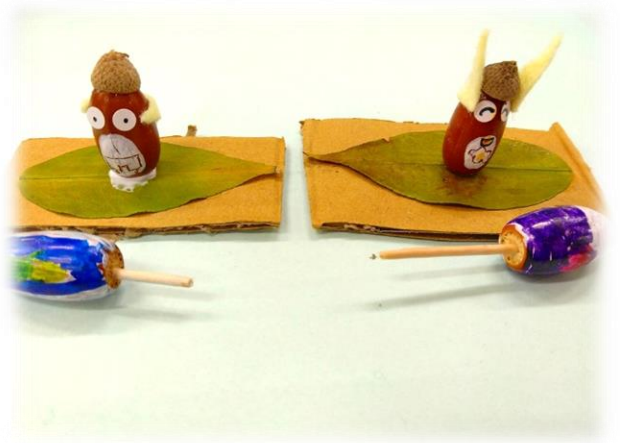


館内展示





ワーク シヨップ





見本市 実行委員会

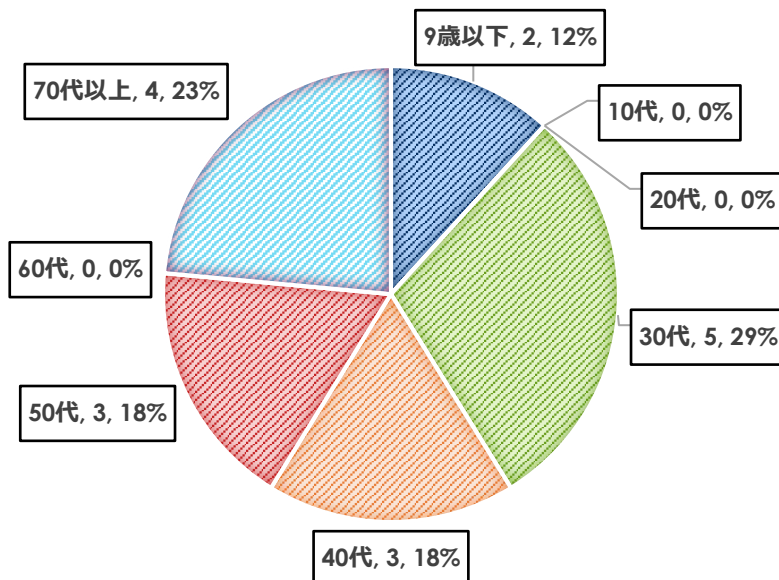


6. アンケート集計結果～オンライン展示～

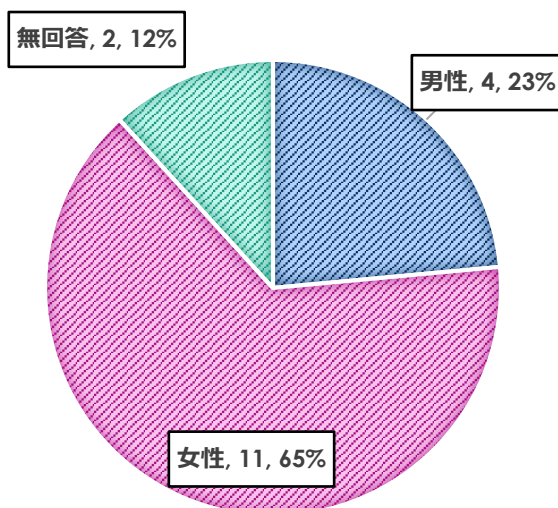
回収数	17
-----	----

凡例：回答,回答数,割合の順に記載

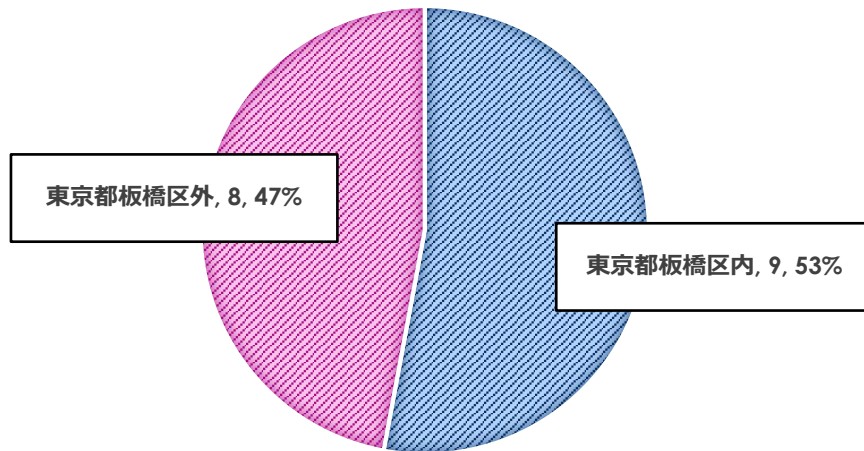
Q1:あなたの年齢をお聞かせください



Q2:あなたの性別をお聞かせください

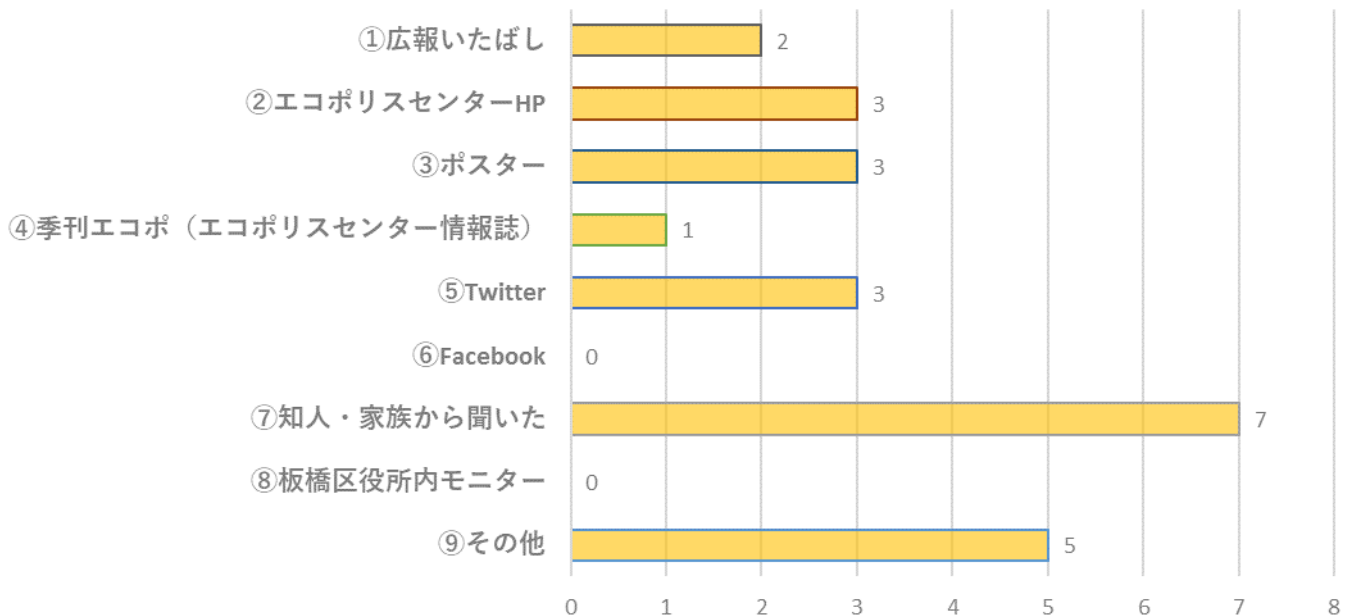


Q3:お住まいはどちらですか

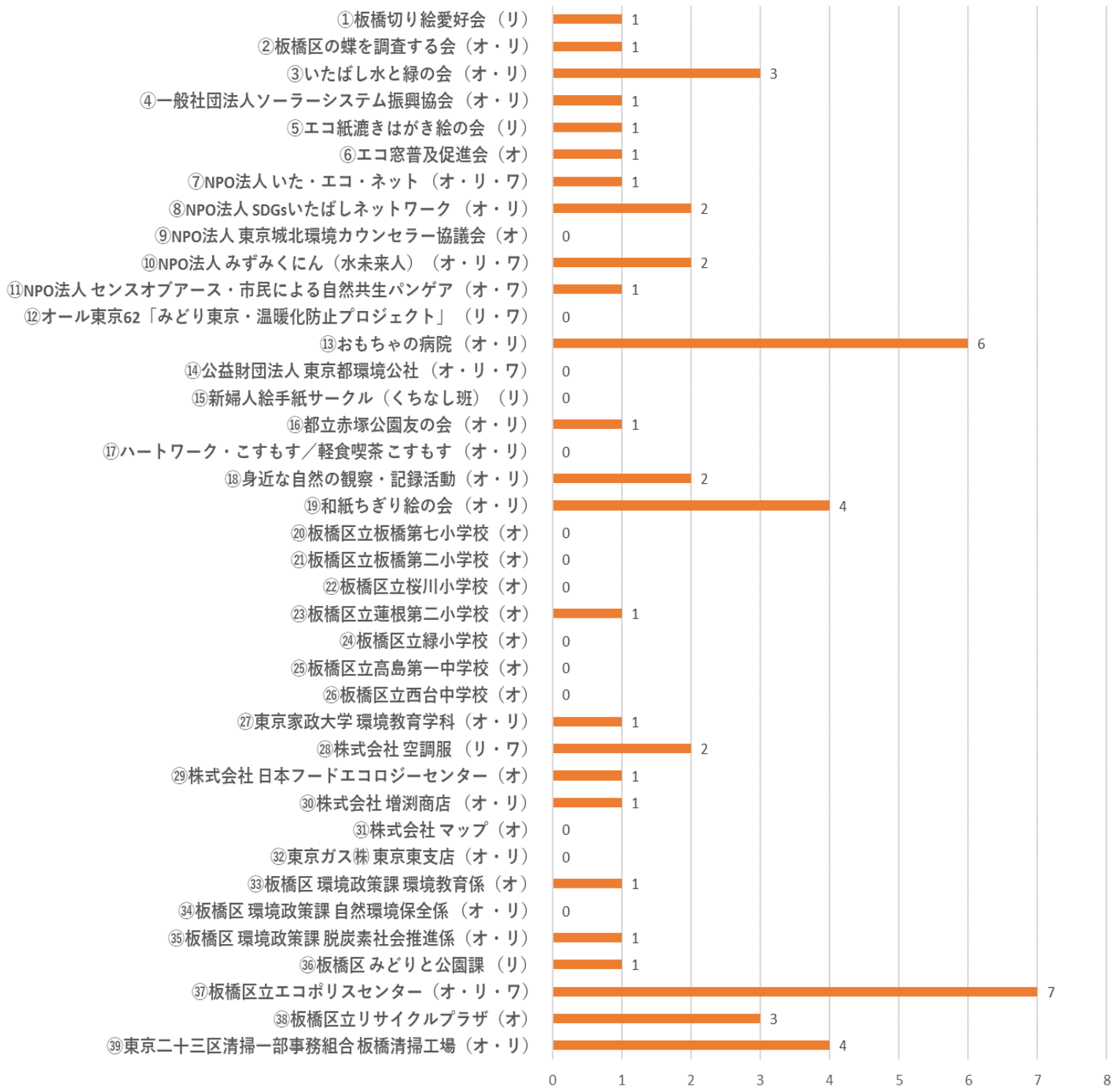


Q4:イベントをどのように知りましたか？ (複数選択可)

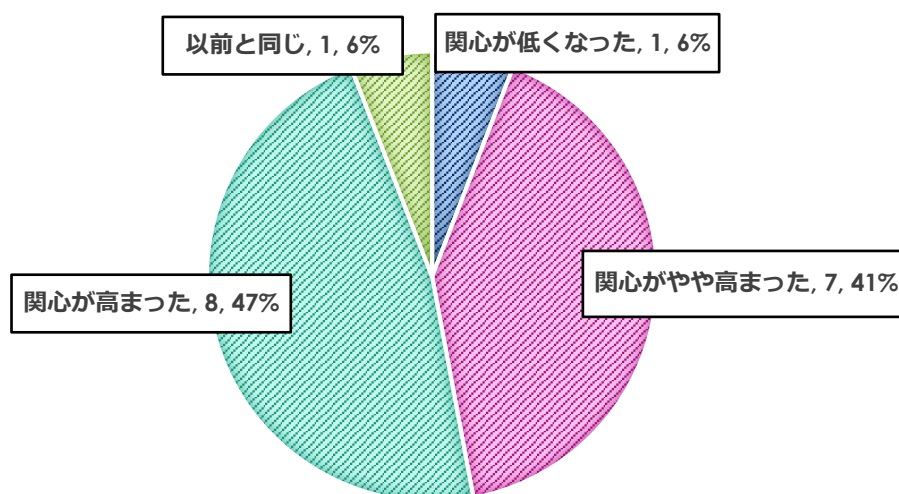
※凡例) オ：オンライン展示 (Web) リ：リアル展示 (館内)
ワ：ワークショップ (館内) に出展



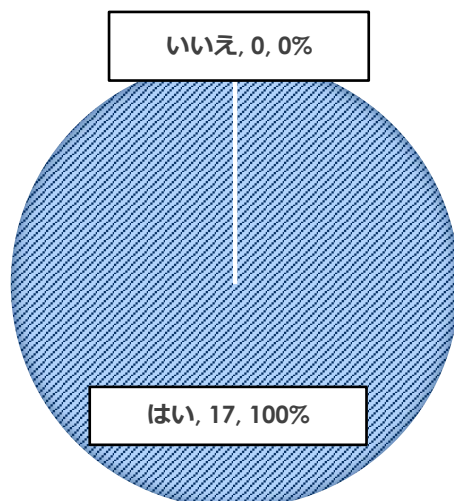
Q5：印象に残った団体を選んでください（複数回答可）



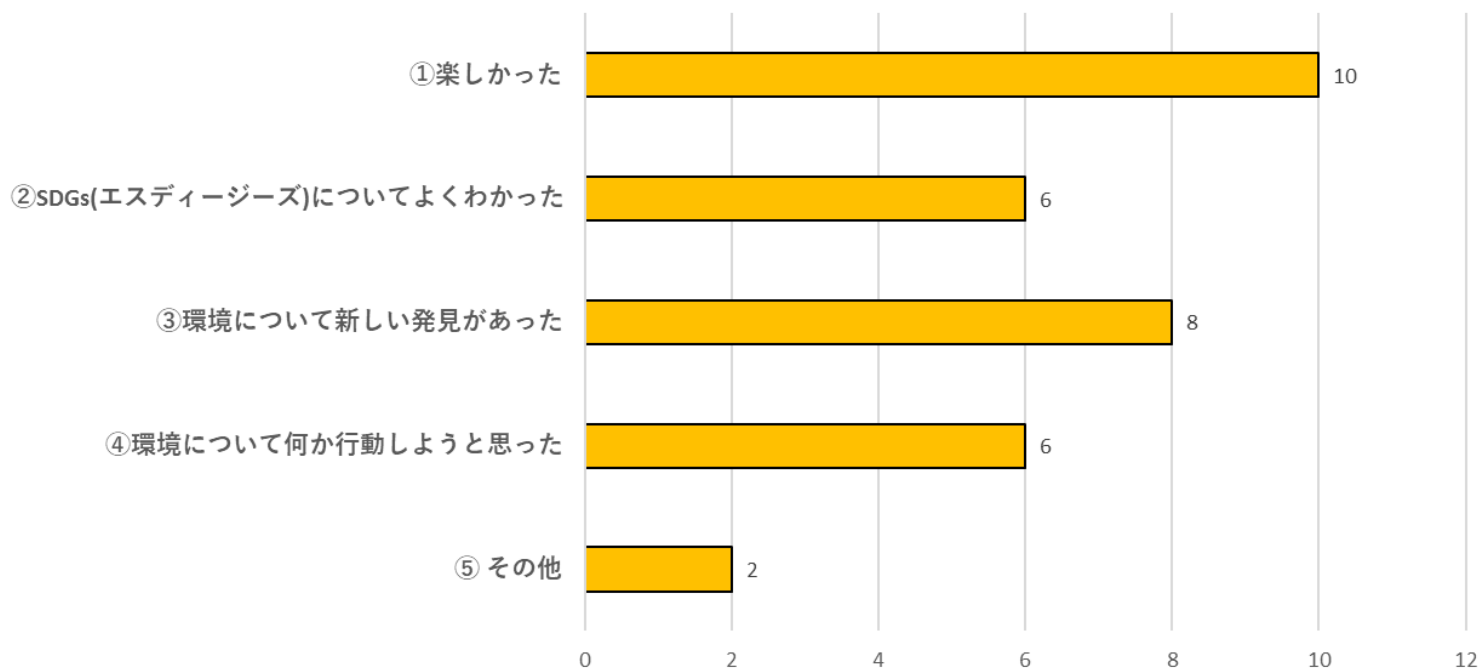
Q6:Webページを見て、
環境についての関心に変化はありましたか



Q7:SDGs（エスディージーズ）について
知っていましたか



**Q8 : Webページを見て
あてはまるものをお選びください。
※複数回答可**



Q9 : ご意見・ご感想があればご自由にお書きください

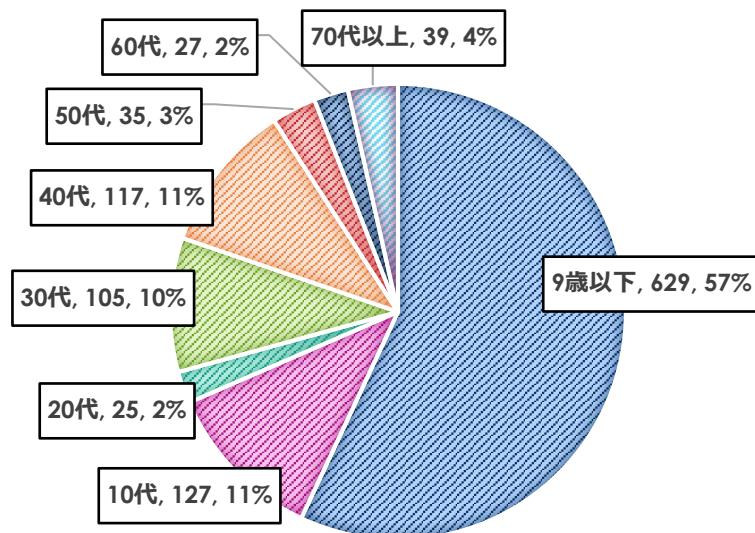
ご意見・ご感想
・来年も楽しみにしています。
・実際にも、見本市を見てみたいです。
・webで見れるのは気軽に良い
・コロナ期間中でも、WEBでやれるのは良い。
・これから尚、注目して行きたいと思いました
・全国何処からでもみられる。
・フォントや写真サイズはPCと携帯の両方を考慮されたほうがいいのかも
・ウェブでも楽しめましたがやはり実際に見てみたいです。
・増淵商店さんの動画がよかった。
・素晴らしい取り組みです。
・クイズの答え方が最初分からなかった。番号ではなくその行どこでもOKが良いと思う。
・楽しい、繰り返し拝聴、拝見ができる、1回ですべて見ることはできなかった。後でじっくり見てみたい。
・各団体をじっくり見られて良かったです。
・みなさん、いろいろ工夫していてよかった。
・コロナ禍でもウェブでの情報発信ができて良かったですね。

7. アンケート集計結果～リアル展示・クイズラリー～

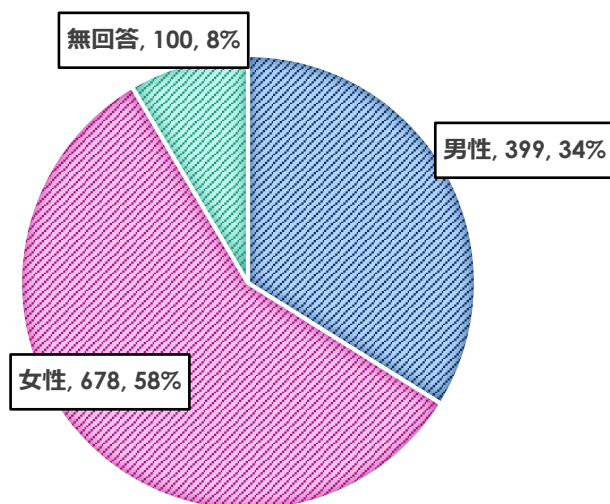
回収数 1177

凡例: 回答,回答数,割合の順に記載

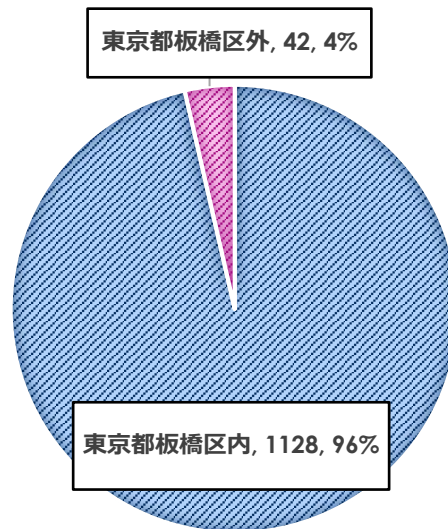
Q1:あなたの年齢をお聞かせください



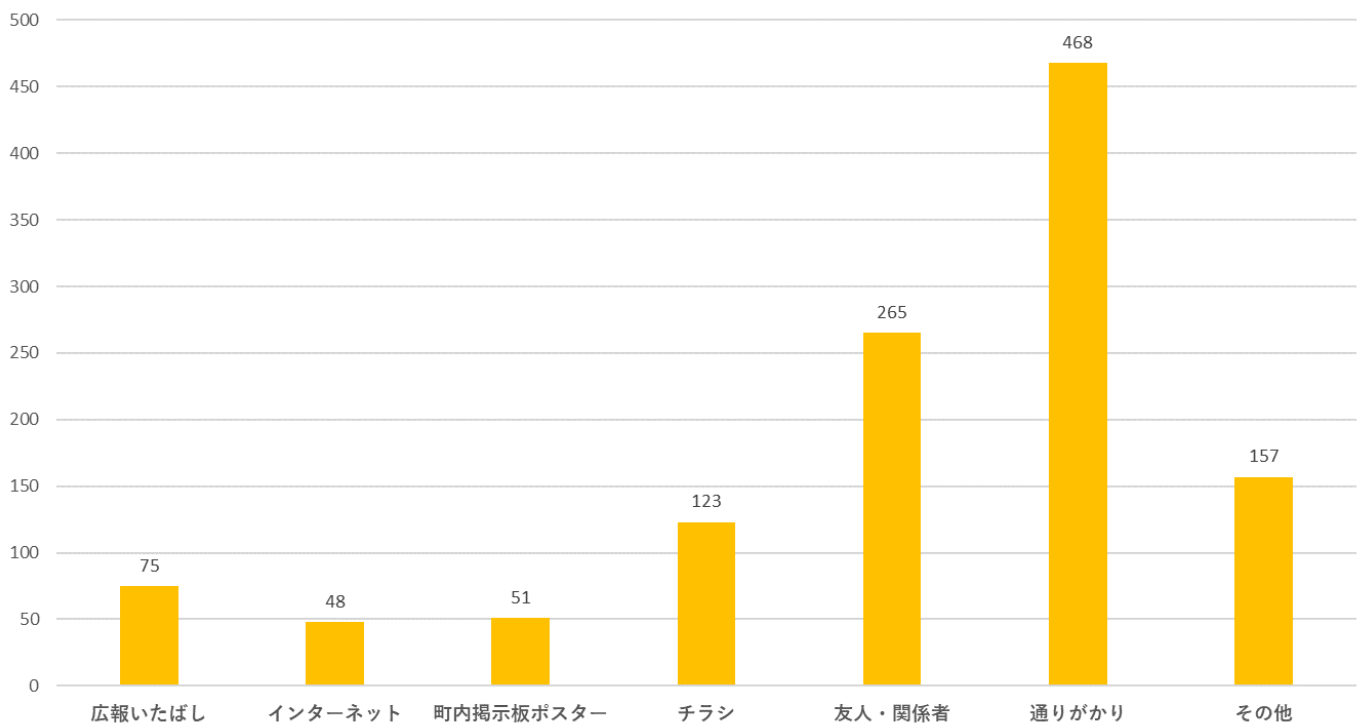
Q2:あなたの性別をお聞かせください



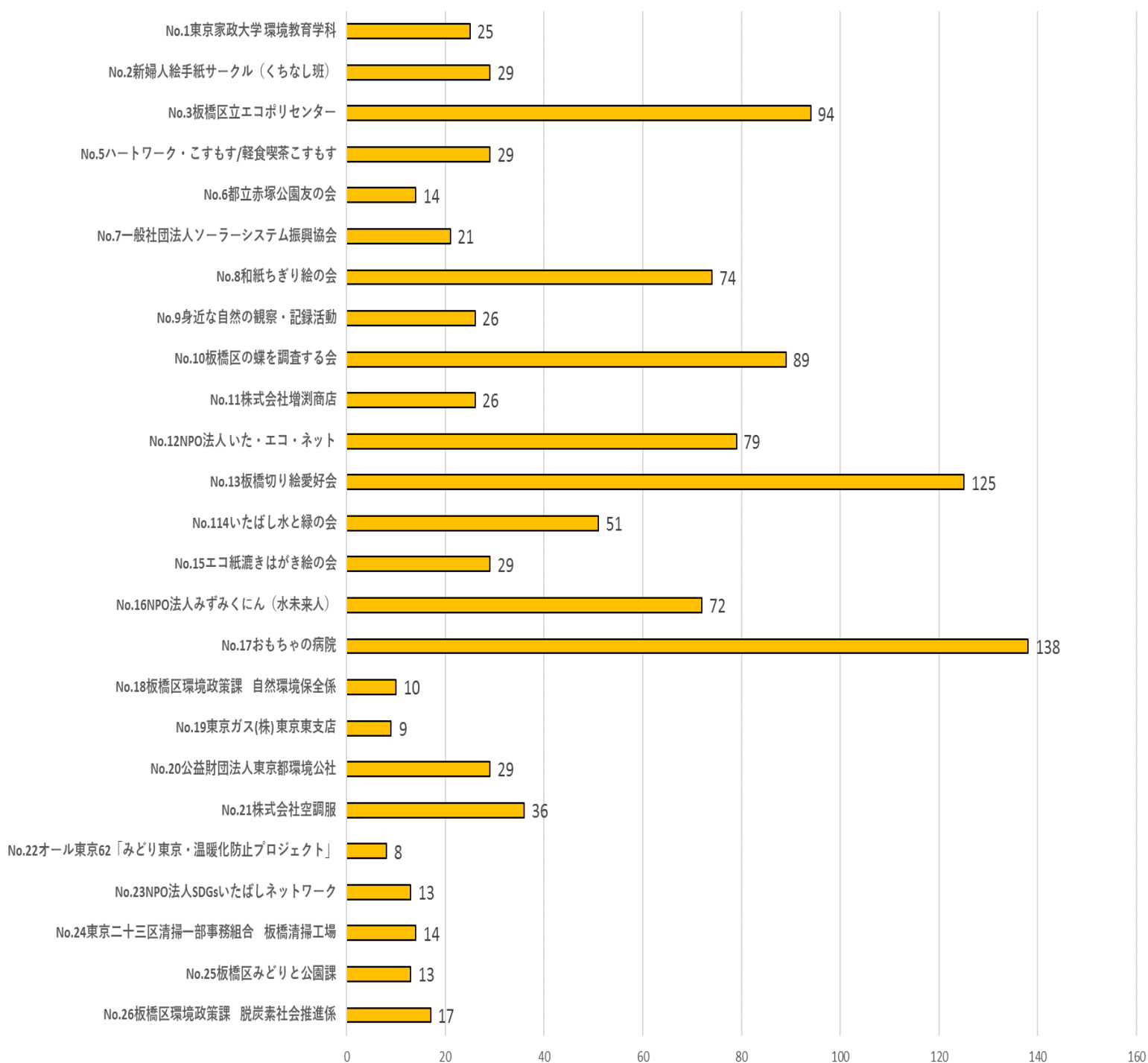
Q3:お住まいはどちらですか



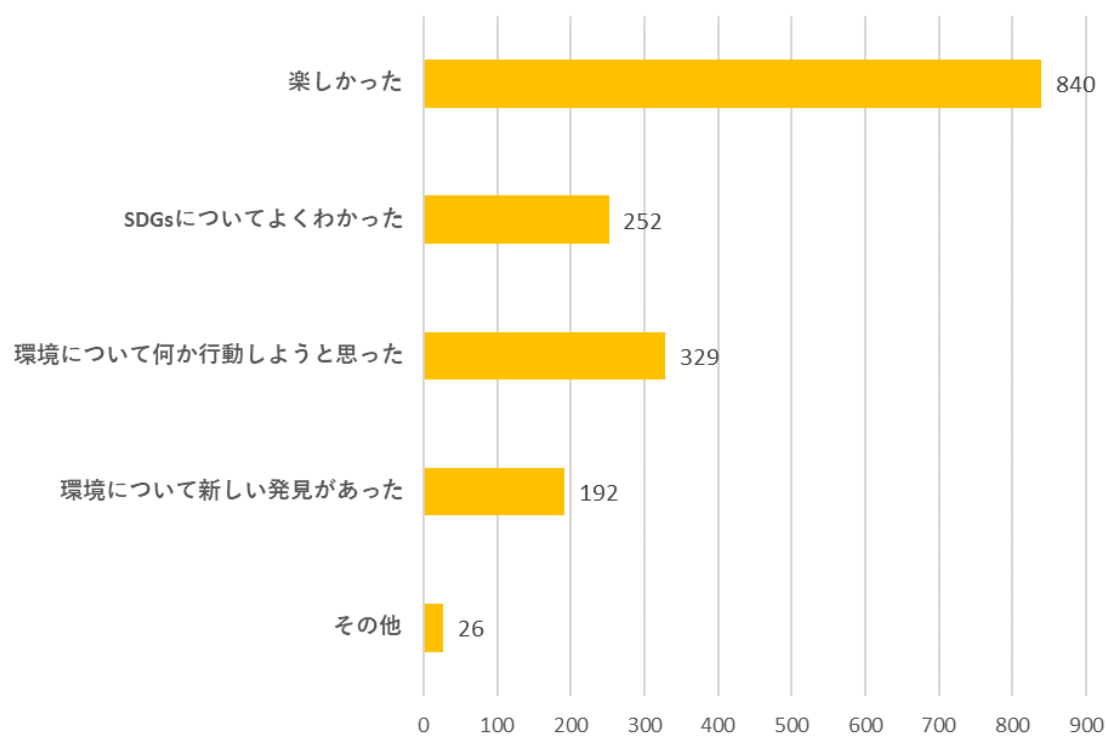
Q4：来場のきっかけをお聞かせください（複数選択可）



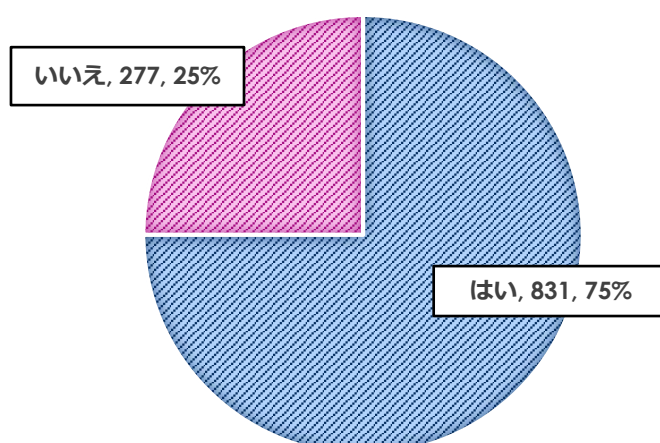
Q5:印象に残った団体を選んでください (複数回答可)



Q6：展示やクイズラリーに参加して あてはまるものはどれですか



Q7:SDGs（エスディー・ジーズ）について 知っていましたか

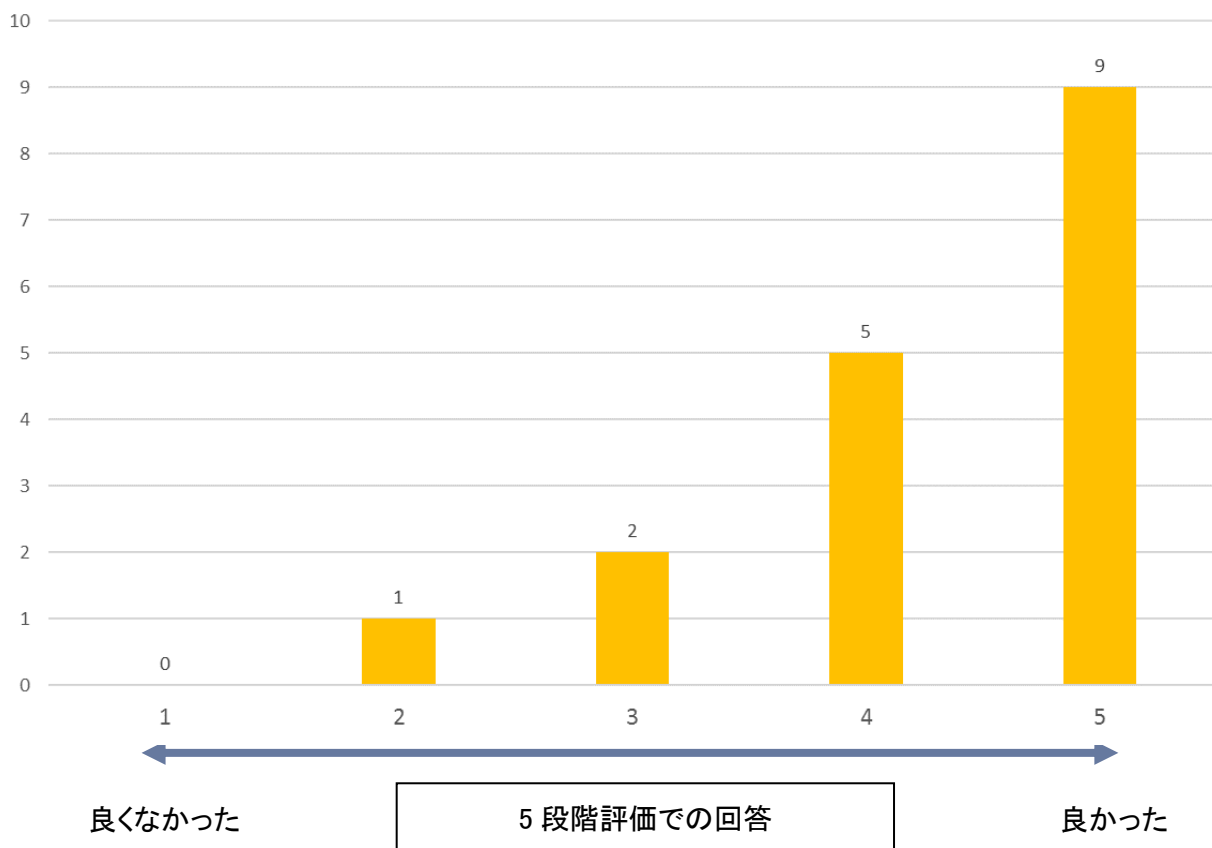


8. 出展者アンケート集計結果

8-1 オンライン展示出展団体

回収数	17
-----	----

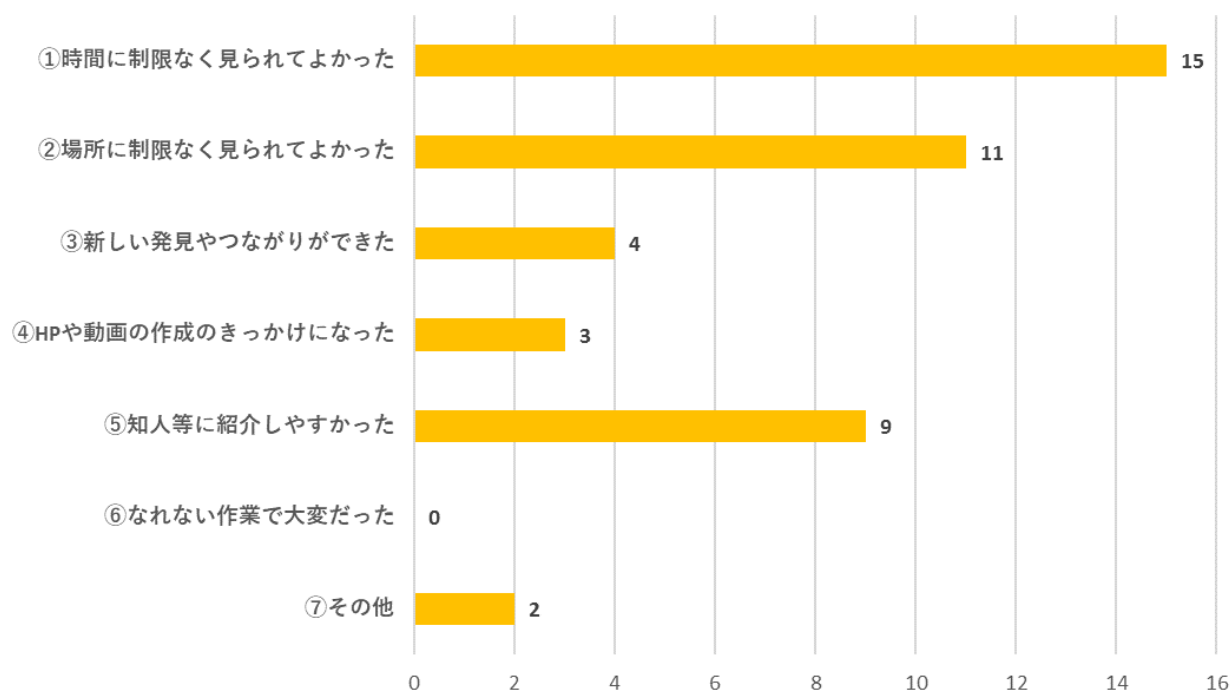
Q1：今回Web展示に出展してみたいかがでしたか



※Q1の理由

- Web展示により、幅広い対象に周知することができました
- コロナ過で、当清掃工場の啓発活動を行うことができてよかった。
- 会場展示のほうがリアリティがあった
- 原稿を作成する上でいろいろと勉強になる
- 広く知っていただける機会を持ったこと
- 環境イベントの開催が難しい中で、このような取り組みをしていただけることに感謝いたします。
- 簡単に学校の活動を紹介することができた。
- 距離的な問題などで実際に展示物が見られない方にも、オンライン形式での展示があれば見てもらうことが可能になるから。
- 通常ではアウトリーチできない方々に弊社の取り組みを知っていただける機会となったため。

Q2 : Web展示出展にあたり あてはまるものはどれですか（複数選択可）



Q3 : Web出展にあたり、気づいたことや感想など ございましたらご記入ください。

●団体の紹介・宣伝もオンラインを利用して更にできるようになったため、Web 出展はとても良いと感じた。
●反応がわからないので、内容が一方的になりやすい。また表現としては画像や文字だけよりも音声があると親しめ、わかりやすい。
●パソコンやスマホ等を見る時間が増えていると思われるので、少しでも多くの人目に留まったことを期待しています。
●今年度も貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
●出展ごとのアクセス数がわかると良いと存じます。
●出展決定の通知が来てから素材提出締切までの期間が約 2 週間半ぐらいだと、工場内で提出物の決裁を行う為少し短いと感じた。
●本番前にテストページを確認することで画像等の微調整ができたので、有難かったです。
●web で見た映像と展示場で実際に見たいと言う人が居て見比べられて良かった。
●様々な学校の環境教育のようすを知ることができて、とても勉強になりました。
●伝えたいことは多々あるが、詰め込みすぎても目が滑ると思う。自分がその場所において補足説明をできるわけではないので、いい塩梅を考えるのが難しい。

Q4：他の出展団体ページを見て 新たな気づき等ありましたか

- 他の団体・企業の取り組みを知ることは必要なことだと、改めて感じた
- 他の団体のページもサイトをクリックすれば見る事ができるため、どのようなことをやっていて、その活動がどのように環境と関わっているのかを知ることができ良かった。
- 他の小学校の取り組みが見ることができ、参考になった。
- 様々な取り組みがあることの気づきと発見になりました。
- WEB 出展では内容が毎回似てしまう。
- 他出展者が画像編集ソフトを上手に使い、見やすく、わかりやすいものを目指して参考になった。
- 画像や動画がたくさん使われており、目を惹く内容だったと思います。
- 赤塚公園に四季を問わず色々の植物が多く有る事にきずかされた。幼稚園、小学生の時から物や生物の大切さ、を遊びながら自然に覚えていくのは良いことだと思う。
- どの団体もクイズがあり、楽しく特徴を知ることができて、良かったです。
- そのうち弊社も動画を載せてみたいと思うが、やり方についてはもう少し検討が必要かなという印象。

Q5：その他ご意見等ございましたらお聞かせください

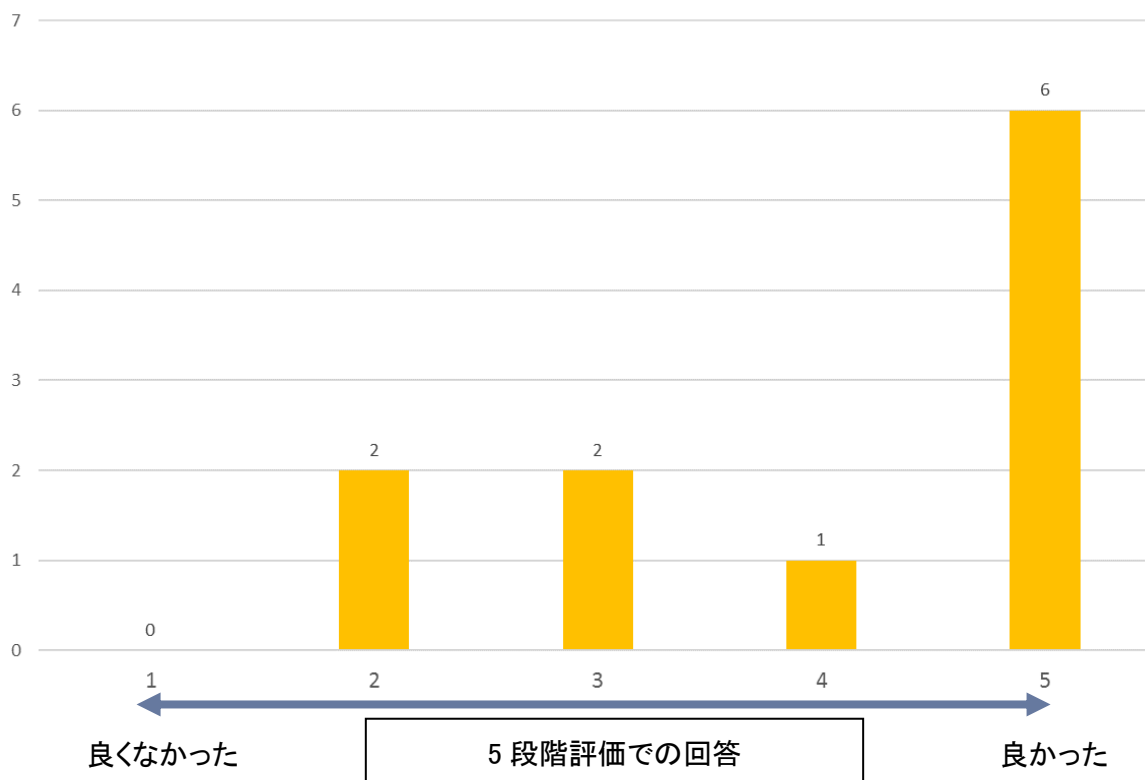
- 実行委員会方式は見直す必要があり。かといって、実施に当たってボランティア団体や企業が運営参加することは必要。「サポートグループ」として組織した方がいろいろな人・団体が集まりやすいのではないだろうか。
- どの程度のアクセスがあるのか、アクセスがあっても、どの程度しっかり見られているのか疑問だが、少しでも成果があればとよいと思う。
- 来年もウエブ展示は実施するようになりそうですね。
- 教育委員会と連携して、小中学生に支給しているクロームブックを活用し、オンライン社会科見学としてWeb版なんでも環境見本市を授業の一環に取り入れるのはいかがでしょうか？
- コロナ過で、当清掃工場の啓発活動の機会となったのでとても良かった。今後も機会があったらぜひ、参加させていただきたい。
- 日頃は授業が多く、出張して展示準備をするのも大変なので、Webでの参加は、手軽に好きな時間に展示準備 をすることができるので、とてもありがたい。来年度もWebでの参加があると嬉しいです。
- 世界情勢が劇的に変化する中で、環境やエネルギーといった分野はこれまで以上に重要となり、また注目されることと思う。来年以降もぜひ出展させていただき、弊社なりの訴えかけを行っていきたい。

8-2 館内展示出展者アンケート

回収数

11

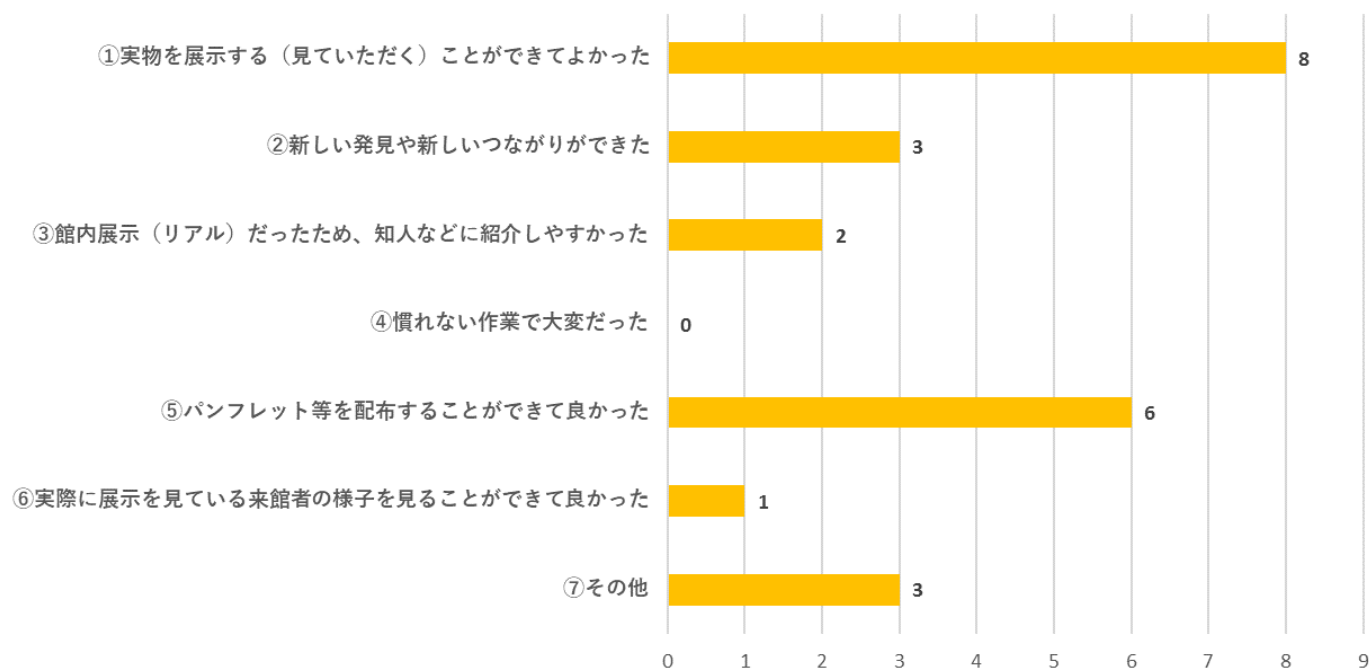
Q1:今回館内展示に参加してみ ていかがでしたか



※Q1の理由

- コロナ過で、当清掃工場の啓発活動を行うことができてよかった。
- チラシやカタログなど持って帰っていただいたから
- 一般入場者との交流ができなかった事は残念でした。
- 写真などを貼ったり、自分の団体では学科のパンフレットを置くことができたりと、実際の様子を更に知ってもらえるような工夫があった。
- 地味な会報が20部も売れた。パネルを見たよ、会報も読んだと言う人がいたことは、見てくれた人がいたと言うこと。よ、会報も読んだと言ってくれた人がいたので
- 広く知っていただける機会を持ったこと
- 直接入場者さんとのコミュニケーションが取れなかった。

Q2:館内展示出展にあたり あてはまるものはどれですか（複数選択可）



※その他の意見

- コロナ禍で、外出する機会が減っている子供たちや近隣の人たちに見ていただけで良かったと思います
- ハガキサイズの切り絵が瞬くうちに無くなった(120枚ほど)
- 一カ月間展示のみなので、以前の見本市よりしっかり見てもらえたと思う

Q3:館内展示出展にあたり気付いたことや感想など ございましたらご記入ください

- 直接入場者さんとのコミュニケーションが取れず反応を実感できず、興味がどの辺り有るのかつかめなかった。
- 展示場所での解説ができなかったことが残念でした。
- 館内展示パネル場所などを持っていないと、クイズラリーの番号の順路がわかりづらいと思った。
- 展示する場所が決まっていたので、準備しやすかったです。

Q4:他の出展団体展示を見て 新たな気付き等ありましたか

- 参考になる活動を進めている団体もあり、なにか一緒にできないものかと思った。
- 色んな活動があることが分かり参考になった。
- 海のプラスチック汚染の展示は、Webより格段によかった。見る人も多かったと思う
- 他の団体の方の館内展示を見ると、実際に作成した作品を飾っていたりパンフレットを置いていたりしており、特に作品など実際に目で見るようなものはリアル展示で飾ることが効果的であると思った。
- 板橋切り絵愛好会の方々の切り絵を見て、とても精巧に作られていると思った。
- SDGsの理解が深まりました。

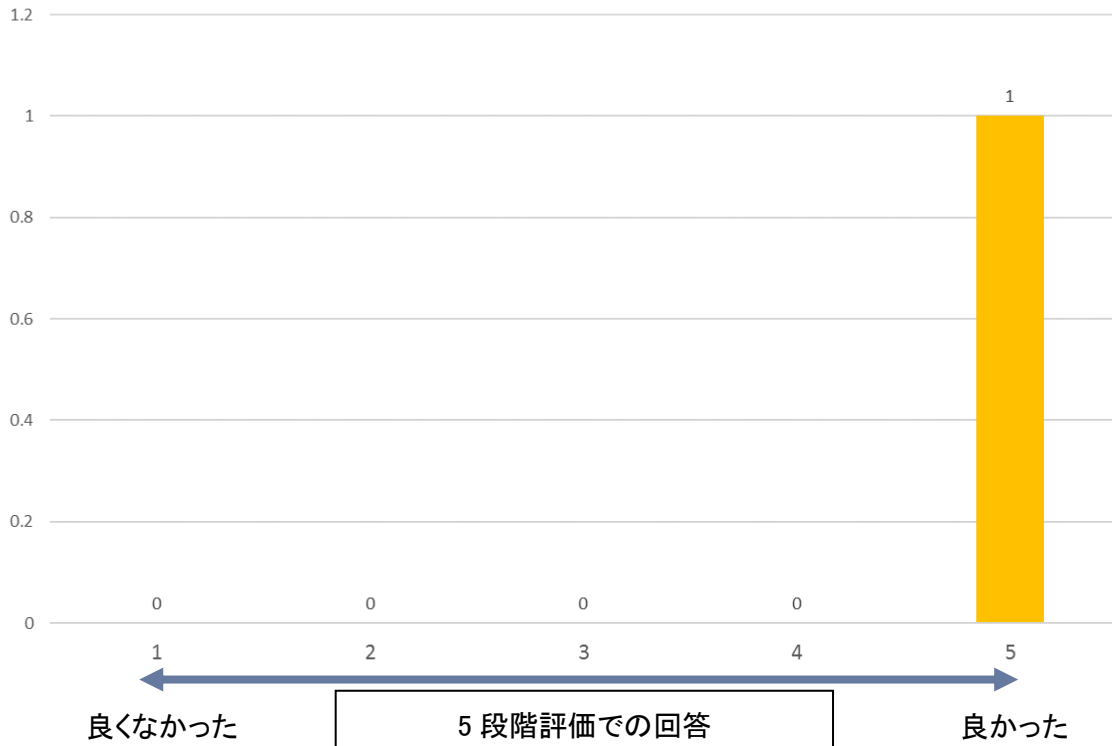
Q5：その他ご意見等ございましたらお聞かせください

- 来年は従来のやり方が出来れば楽しいです。
- 毎年展示させていただきありがとうございます
- ワークショップ中心の見本市の後に、展示だけ一カ月やってもらいたい。
- インターネット環境などが無い団体、来場の方々にも当組合の活動を紹介できるので、館内展示(リアル)出展を継続していただきたい。
- 出展できて、良かったです。ありがとうございました。

8-3 ワークショップ出展者アンケート

回収数 1

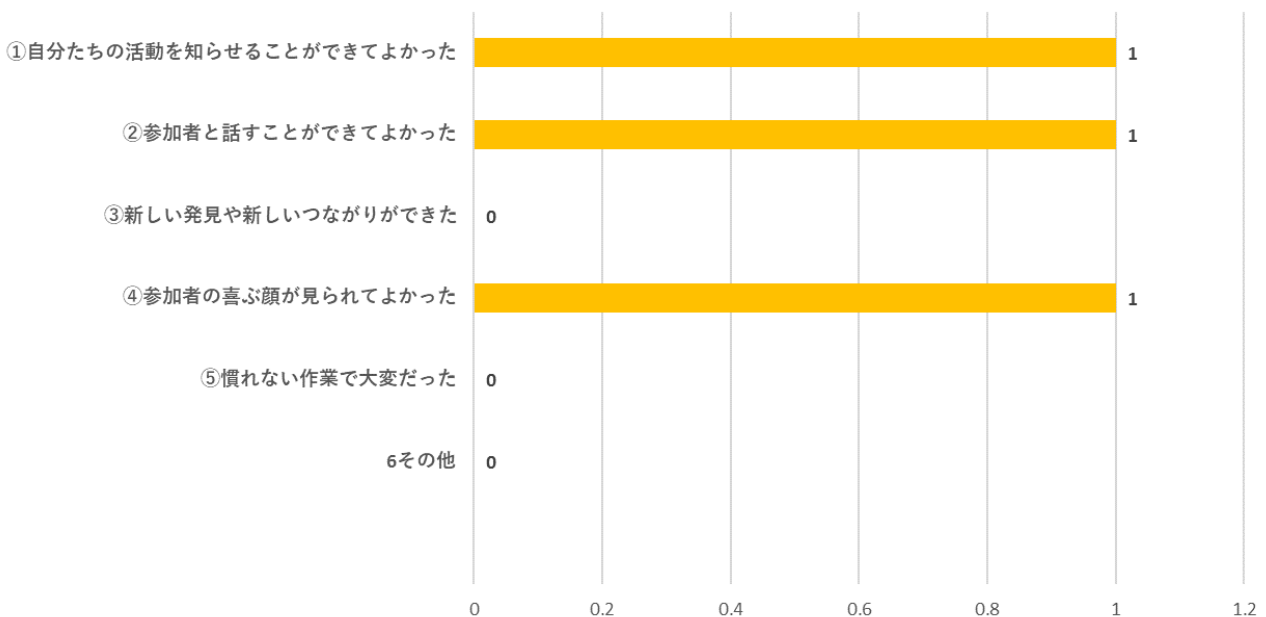
Q1:今回ワークショップに出展してみてもいかがでしたか



※Q1の理由

●子ども達が喜んでいたので

Q2:ワークショップ出展にあたりあてはまるものはどれですか（複数選択可）



Q3:ワークショップ出展にあたり気付いたことや感想 などございましたらご記入ください

●入れ替え制でのワークショップでしたが、受付対応をしていただきスムーズに行うことができました

Q4:その他ご意見等ございましたらお聞かせください

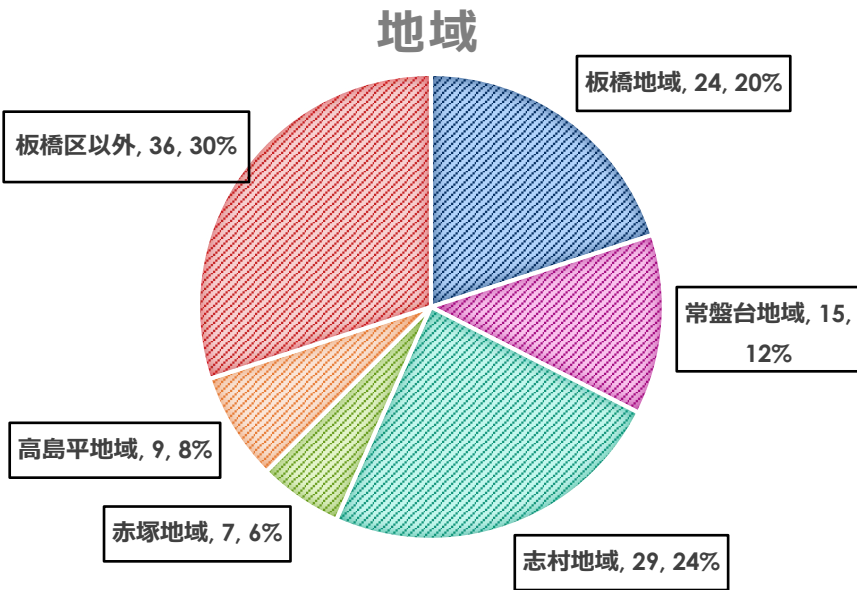
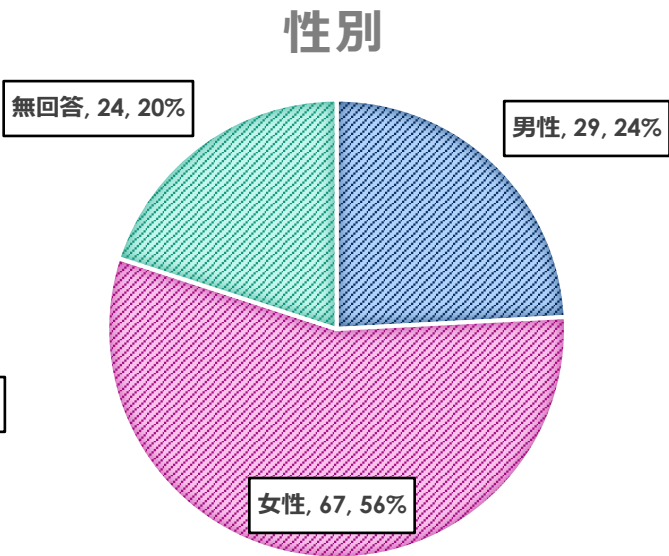
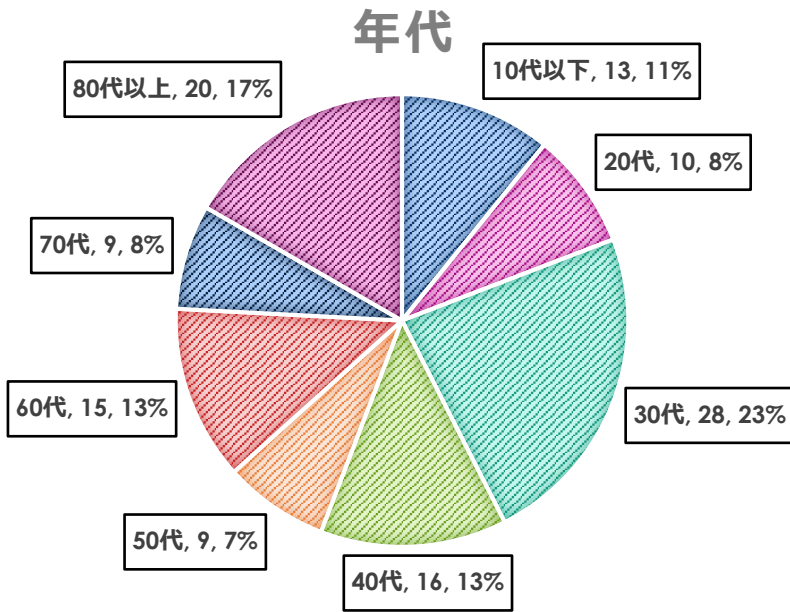
●久しぶりの開催でしたが、待っていてくれた子供がいてとても嬉しかったです
コロナ渦でも無事に開催できて安心しました

9. エコアクション9

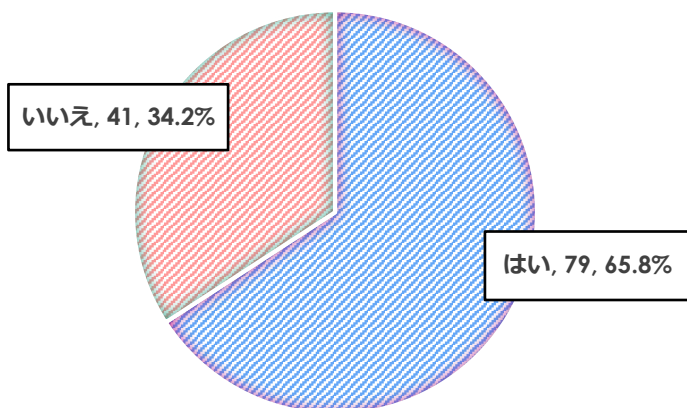
エコアクション9 回答数 120

凡例: 回答, 回答数, 割合の順に記載

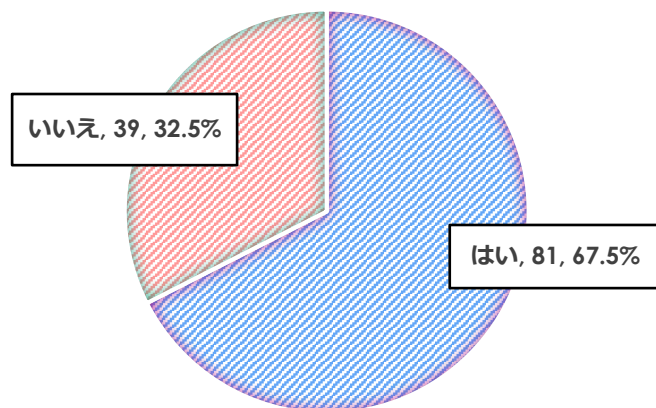
※エコポリスセンターHP (HP 上バナー、Google フォーム)、エコポリスセンター(リアル展示)での「大人」の回答数の合計(子どもの回答数は含まない)。



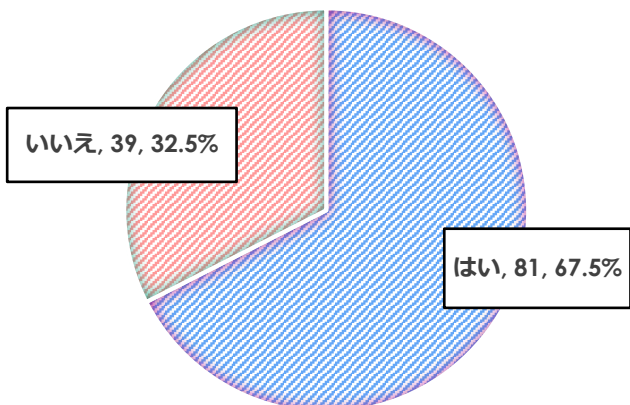
① 冷暖房は適切に使っている
(室内温度目安：夏28℃、冬20℃)



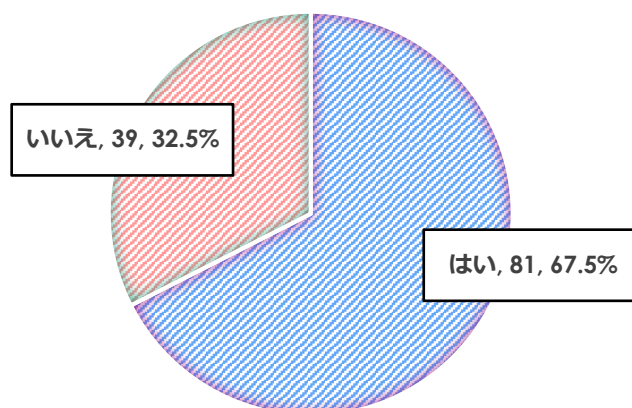
② テレビは見ていないときは
消している



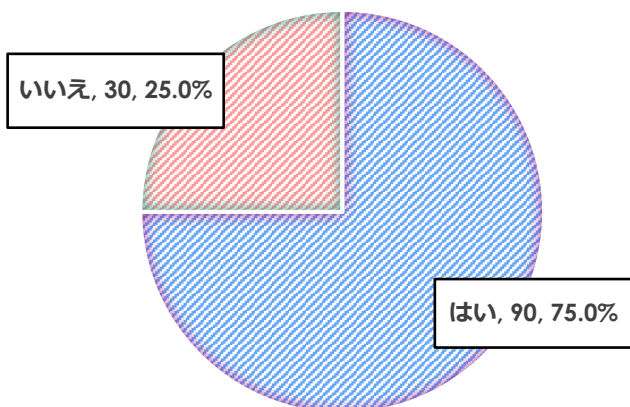
③ 照明はこまめに消し、買い替え時には
LEDランプを選んでいる



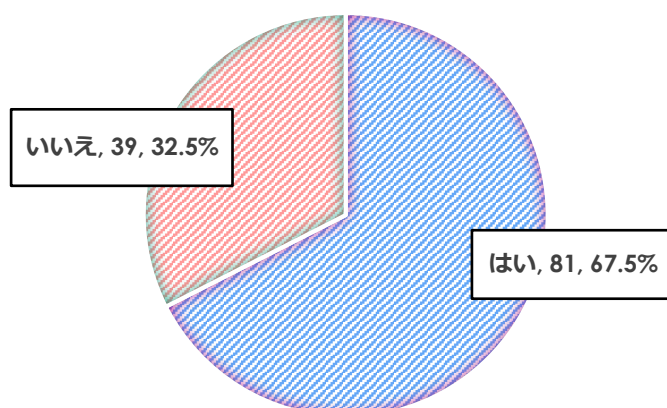
④ 冷蔵庫の温度は適切に設定し
開けている時間を短くしている



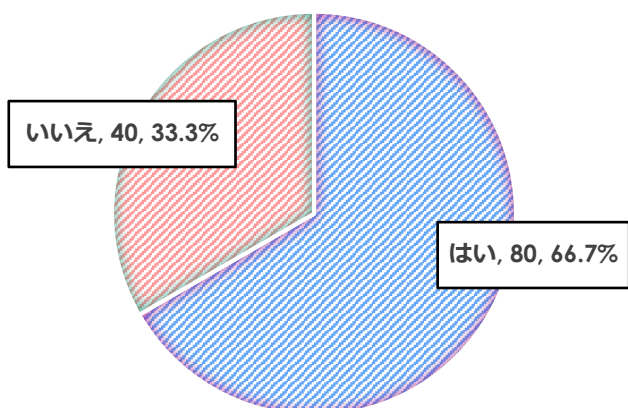
⑤ 調理の火力をこまめに調整している



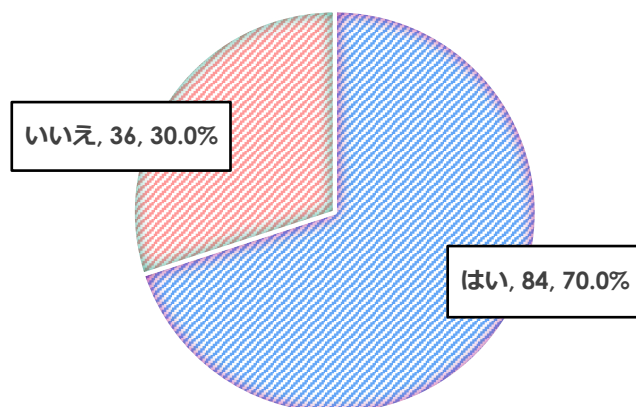
⑥ シャワーのお湯はこまめに止めている



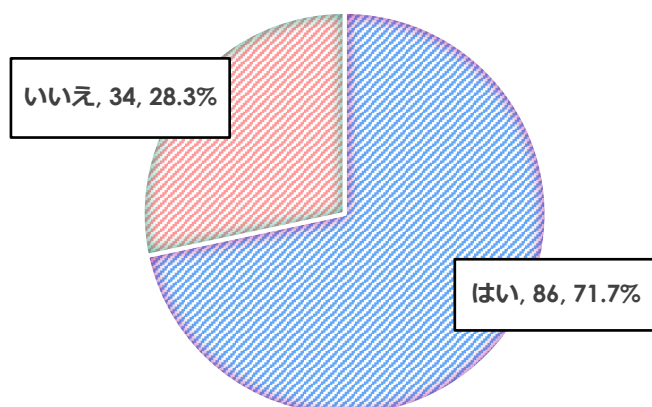
⑦ お風呂はできるだけ
間を開けずに入浴している



⑧ できるだけ公共交通・自転車・徒歩で
移動し、車を運転するときは燃費の良い
運転を心がけている



⑨ マイボトル・マイバッグを使っている



10. 見本市実行委員会について

(1) 見本市実行委員会とは

エコポリスセンターで行っている環境なんでも見本市の企画・運営を、広く登録環境団体(エコポリスセンターに登録していただいている区民団体)や企業などとともに協働するための会である。過去の環境なんでも見本市出展者へ呼びかけをし、立候補制で実行委員になっていただいた。

(2) 見本市実行委員構成

NPO 法人いた・エコ・ネット、身近な自然の観察・記録活動、おもちゃの病院、

各団体から1名 計3名

(3) 見本市実行委員会開催日時

回	日時	実行委員 参加者数	事務局※ 参加者数
第1回	2021年9月7日(火)15:30~16:40	1	6
第2回	10月6日(水)10:00~11:20	3	5
第3回	11月17日(水)14:00~15:30	3	5
第4回	2022年1月13日(木)10:30~12:20	3	6
第5回	3月9日(水)10:00~11:53	2	6

※事務局の構成

板橋区役所環境政策課環境教育係1名

エコポリスセンター5名

(4) 実行委員の感想

●オンライン開催ということで、遠方であるなど、これまでの形で参加しづらかった方々がその様子
の一端に触れていただけたのではと感じている。次年度以降も継続する際には、イベントとしての
盛り上げ方や来場者が活動を知った後のつながりをどう生み出すかなど、さまざまな仕掛けも加え
ていきたい。

参考資料

ポスターA3

オンラインもリアル展示も楽しめる!

第21回 Web版 環境

なんでも見本市

令和4年 2/1(火)9:00 ~ 3/1(火)12:00

HPへ!

QRコード

エコーサーズ
今回のテーマは「SDGsとわたしたちの暮らし」
環境活動に取り組む様々な団体の活動・成果を紹介します!

1 貧困をなくそう	2 健康をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

オンライン展示 (Web)
いつでも、どこからでも
閲覧できる!
日時 2月1日(火)9:00 ~ 3月1日(火)12:00まで
場所 エコポリスセンター HP
URL <https://itbs-ecopo.jp/event/act/mihon-ichi/post-30349/>

リアル展示 (館内)
実際に見たい方はこちら!
館内で見られない団体も!
日時 2月1日(火)~3月1日(火)9:00~17:00
(※最終日は12:00まで)
場所 エコポリスセンター 地下1階

7-7ショップ (館内)
気軽に楽しめる工作など!
日時 2月5日(土)・6日(日)
いずれも①10:00~11:00
②14:00~15:00
場所 エコポリスセンター 地下1階
オリジナルエコバッグ、コットンマグネット、海辺のマグネット、里山で採れた間伐材を使った工作などを予定

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容を変更する場合がございます。

エコポリスセンター
【開館時間】 9:00 ~ 17:00
【休館日】 毎月第3月曜日(祝日の場合は直後の平日になります)
〒174-0063 東京都板橋区前野町4-6-1
TEL: 03-5970-5001 FAX: 03-5970-2255
E-mail: info@itbs-ecopo.jp

【公共交通機関のご案内】
●東武東上線とときわ台駅北口より赤羽駅西口行きバス(約10分) 前野小学校下車 徒歩2分
●都営三田線志村坂上駅下車 A2出口より徒歩14分
●土・日・祝日と夏休み期間中のみエコポリスセンター・教育科学館・熱帯環境植物館・リサイクルプラザの4館と西台・ときわ台の2駅を循環する無料送迎バスを運行しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
エコポリスセンターは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

主催：板橋区 / 企画・運営：見本市実行委員会

オンラインもリアル展示も楽しめる!



第21回
Web版

環境



なんでも見本市

令和4年

2/1 火 9:00 ~ 3/1 火 12:00



今回のテーマは「^{エスディーゼーズ}SDGs とわたしたちの暮らし」

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

環境活動に取り組む様々な団体の活動・成果を紹介します!

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容を変更する場合がございます。



【開催時間】9:00 ~ 17:00
 【休館日】毎月第3月曜日(祝日の場合は直後の平日になります)
 〒174-0063 東京都板橋区前野町 4-6-1
 TEL: 03-5970-5001 FAX: 03-5970-2255
 E-mail: info@itbs-ecopo.jp

【公共交通機関のご案内】
 ●東武東上線ときわ台駅北口より赤羽駅西口行きバス(約10分) 前野小学校下車徒歩2分
 ●都営三田線志村駅下車 A2出口より徒歩14分
 ●土・日・祝日と夏休み期間中のみエコポリスセンター・教育科学館・緑帯環境博物館・リサイクルプラザの4館と西台・ときわ台の2駅を循環する無料巡回バスを運行しています。



エコポリスセンターは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

主催：板橋区／企画・運営：見本市実行委員会

環境なんでも見本市 ワークショップ (館内)

今年の「環境なんでも見本市」は、2年ぶりにエコポリスセンター館内で工作や体験ができるワークショップを2日間限定で開催します！体験して、学んで、環境について考えよう！申込は不要ですが、回数や人数を縮小しての開催となることをご了承ください。時間内でも定員に達し次第受付を終了いたします。

※感染症対策のため、1回10名までの入れ替え制とさせていただきます。

オリジナルエコバッグを作ろう!! (株式会社空調服)

日時：2月5日(土) 10:00～11:00
定員：100名 参加費：無料
場所：視聴覚ホール

エコバッグにスタンプやお絵かきをして自分だけのエコバッグを作ろう！



海辺のマグネットを作ろう! (NPO法人みずみくにん(水未来人))

日時：2月5日(土) 10:00～11:00
定員：100名 参加費：無料
場所：環境研修室

ペットボトルのキャップを再利用。海辺で拾った貝殻やシーグラスを飾り付けて、オリジナルマグネットを作ろう！



再生紙で水族かんバッジ

(エコポリスセンター)

日時：2月5日(土) 14:00～15:00
定員：100名 参加費：無料
場所：視聴覚ホール

再生紙に絵を描いて、オリジナル缶バッジを作ろう！



東京各地の環境の取り組みを見てみよう

(オール東京62「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」)

日時：2月5日(土)
14:00～15:00

参加費：無料・体験のみ・定員無し
場所：環境研修室



内容変更

※コットンマグネット作りは、下記に変更となりました。

再生紙で水族かんバッジ

(エコポリスセンター)

日時：2月6日(日) 10:00～11:00
定員：100名 参加費：無料
場所：視聴覚ホール

再生紙に絵を描いて、オリジナル缶バッジを作ろう！



どんぐりコロコロくるっとコマづくり

(NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア)

日時：2月6日(日) 10:00～11:00

参加費：無料・定員無し

場所：環境研修室

どんぐりを使って人形やコマを作ろう！



リユース de フリンジバッジ

(エコポリスセンター)

日時：2月6日(日) 14:00～15:00
定員：100名 参加費：無料
場所：視聴覚ホール

安全ピンに毛糸やリボンを結んでおしゃれなフリンジバッジを作ろう！



間伐材でおもしろ顔工作

(公益財団法人東京都環境公社)

日時：2月6日(日) 14:00～15:00

定員：60名 参加費：無料

場所：環境研修室

間伐材や木の実を使って作ったいろいろな顔ができあがったらペンダントやバッジにしよう！



オンライン展示(Web)

いつでも、どこからでも閲覧できる！

日時：2月1日(火) 9:00～3月1日(火) 12:00まで

場所：エコポリスセンター HP

URL：<https://itbs-ecopo.jp/event/act/mihon-ichi/post-30349/>

QRコードからアクセス♪ →



リアル展示(館内)

展示をめぐるクイズラリーに参加して
すてきな景品をゲットしよう！

(景品交換は10:00～16:00 ※最終日は12:00まで)

日時：2月1日(火)～3月1日(火) 9:00～17:00

(※最終日は12:00まで)

場所：エコポリスセンター 地下1階

Web 版 第 21 回環境なんでも見本市 実施報告書

発行: 令和 4 年 4 月

主催: 板橋区

企画・運営: 見本市実行委員会

板橋区立エコポリスセンター(指定管理者: 板橋エコみらいプロジェクト)

TEL: 03-5970-5001 FAX: 03-5970-2255

〒174-0063 板橋区前野町 4-6-1
